TOSHIBA

東芝デジタルスチルカメラ取扱説明書

形名 PDR-5300

東芝デジタルスチルカメラAllegretto 5300 (PDR-5300)を安全に、正しく使っていただくために、ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後はいつも手元においてご使用ください。

Allegretto5300

本製品は Exif Print に対応しています。
Exif Print

はじめに

ご使用の前に
付属品
安全上のご注意
もくじ
カメラの取扱いについて
バッテリーの取扱いについて
AC アダプターについて
付属の SD メモリーカードについて

ご使用の前に

このたびは東芝デジタルスチルカメラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのデジタルスチルカメラを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
意匠、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張、省略があり、実際とは多少異なる場合があります。

商標について

- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Macintosh、Mac OS は、Apple computer, Inc. の登録商標または商標です。
- ACDSee は、ACD Systems 社の商標です。
- SD ロゴは商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスＢ情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

著作権についてのご注意

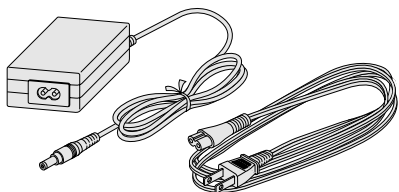
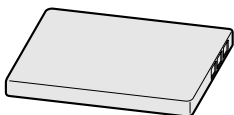
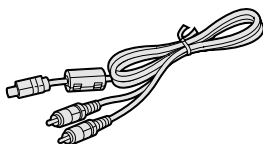
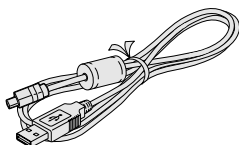
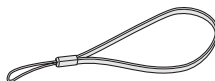
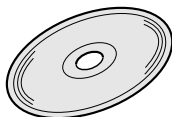
デジタルスチルカメラで記録したものは、個人として楽しむことなどを除いては、著作権法上、権利者に無断で使用、開示、頒布または展示などをすることはできません。
なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルが記録されたメモリーカード(SDメモリーカード等)の転送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

用語について

- Windows 98
  Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を示します。
- Windows 2000
  Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版を示します。
- Windows Me
  Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
- Windows XP
  Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を示します。

付属品

以下の付属品がはいっていることをご確認ください。不足や品違い、破損などがあった場合は、販売店にご連絡ください。
以下の付属品以外にも、お知らせや商品説明を記載した印刷物がはいっている場合があります。

AC アダプター：（CEX0107A）または（ADP-15HH A）が同梱されています。

リチウムイオンバッテリー（PDR-BT3）

AV ケーブル

USB ケーブル

ハンドストラップ

ソフトウェア CD-ROM（1 枚）
ソフトウェアアプリケーション
USB ドライバ（Windows 98 用）

SD メモリーカード

●保証書
●取扱説明書（本書）
●ユーザー登録カード

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
🚫 禁　止	“🚫”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理･改造を行なった場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の価格以内とします。

ご使用になるとき

警告

異臭・発煙・過熱などの異常が発生したときはバッテリーやACアダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。バッテリーも高温になっていることがありますので、やけどにご注意ください。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

異物や水などが機器の内部にはいったときは電源を切り、バッテリーやACアダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜け

機器を落としたり、ケースを破損したときは電源を切り、バッテリーやACアダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜け

金属類や燃えやすいものなど異物を内部に入れないこと

火災・感電の原因となります。バッテリー/SDカードカバーや端子、その他の穴や隙間に、異物を入れたり落とし込んだりしないでください。

禁　止

水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

禁　止

分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴りだしたら電源配線・テレビ配線に触れないこと

感電の原因となります。

接触禁止

歩行中、自動車・オートバイなどを運転中に使用しないこと

転倒・交通事故の原因となります。

禁　止

注意

航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと

航空管制上、使用が制限される場合があります。

指　示

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

車の中など温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁　止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーなどで再生しないこと

ヘッドフォンやスピーカーを破損したり、耳をいためたりするおそれがあります。

禁　止

安全上のご注意（つづき）

注意 ―つづき―

落としたり、強い衝撃を与えないこと

火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと

コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

指　示

布や布団の上に置いたり、覆ったりしないこと

熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

禁　止

持ち運ぶときに振り回さないこと

ストラップを持ってカメラをぶらぶらさせると、人や物にぶつけたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

お手入れするときは、バッテリーやACアダプターをはずすこと

取りつけたまま行なうと、感電の原因となることがあります。

指　示

ファインダーを通して太陽を見ないこと

目を痛める原因となることがあります。

禁　止

目の近くでフラッシュを発光させないこと

一時的な視力障害の原因となることがあります。

禁　止

液晶モニターに衝撃を与えないこと

破損したり、ガラスが割れたり内部の液がでてくることがあります。内部の液が目に入ったり、体や衣服についたときはきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、その後医師の治療を受けてください。

禁　止

2年に1度くらいは内部の掃除を販売店に相談すること

機器の内部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。掃除費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

指　示

ACアダプターについて

警告

ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指　示

ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。

分解禁止

ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

指　示

通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

火災の原因となることがあります。

禁　止

ACアダプターのACコードは

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

火災・感電の原因となります。

禁　止

⚠注意

ぬれた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止

指定の AC アダプターを使用すること

指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因となります。

指　示

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

AC アダプターをカメラ以外の他の用途に使用しないこと

カメラ以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

禁　止

AC アダプターの電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

指　示

バッテリーについて

⚠危険

バッテリーをハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

禁　止

バッテリーを加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

禁　止

バッテリーを指定された充電方法以外で充電しないこと

破裂・発火の原因となります。

禁　止

リサイクル協力店へお持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼ること

電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

指　示

バッテリーは指定された用途にだけ使用すること

指定以外の用途に使用すると、バッテリーの破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

指　示

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

バッテリーは、幼児の手の届く場所に置かないこと

バッテリーをお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁　止

バッテリーの液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

指　示

指定のバッテリー（PDR-BT3）を使用すること

指定以外のバッテリーを使用すると、火災の原因となります。

指　示

バッテリーの電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

電極がショートすると、発熱・破裂・発火させる原因となります。

禁　止

⚠注意

バッテリーの極性表示（＋と－の向き）に注意し、正しく入れること

入れ方を間違えると、破裂・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指　示

使用済みのバッテリーは電極にテープをはるなどして保管、廃棄すること

そのまま保管、廃棄すると金属類でのショートにより、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

指　示

使えないまたは放電したバッテリーをカメラの中に入れっぱなしにしないこと

バッテリーの破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災・やけど・けがなどの原因となることがあります。

禁　止

長時間カメラを使用した直後にバッテリーを取り出さないこと

バッテリーが熱くなっているため、やけどの原因となるおそれがあります。

禁　止

もくじ

カメラの取扱いについて

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➡ 6ページ）および以下の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

以下のような場所での使用や保管は避けてください

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところ
- 高温または低温のところ
- 引火性の高いガスが充満しているところ
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

砂がかからないようにしてください

砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
海辺や砂地、砂ぼこりが起こる場所などでは、特にご注意ください。

結露にご注意ください

カメラを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
その場合は電源を切り、1時間ほどたってからお使いください。また、SDメモリーカードに水滴がついたときは、カメラから取り出し、水滴をふき取った後しばらくたってからお使いください。

お手入れするときは

- レンズ、液晶モニターの表面などは、傷をつけないようにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

磁気にご注意ください

カメラのスピーカーのそばにクレジットカードやキャッシュカード、磁気定期券、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて、使用できなくなる場合があります。

ファームウェアのバージョンアップについて

出荷以降、より良くお使いいただくために、ファームウェア（カメラ内部）のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
東芝デジタルスチルカメラホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

バッテリーの取扱いについて

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➡ 6 ページ）および以下の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

*バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

ご使用時には

- バッテリーは使用していなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1 日〜 2 日前）にバッテリーを充電してください。
- バッテリーを長く持たせるためには、できるだけこまめにカメラの電源を切ることをおすすめします。
- 寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されたバッテリーを使用しても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れて暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。
- 端子部は常にきれいにしておいてください。
- 長時間、バッテリーを使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。
- バッテリーは消耗品です。常温（25℃）で使用した場合、約 300 回以上繰り返して使えますが、十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、新しいバッテリーをお求めください。

バッテリーを使用しないときは

- バッテリーを使用しないときは、必ず本体からはずしてください。つけたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
- しばらくバッテリーを使用しない場合は、使い切った状態で保存してください。充電した状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
- 長期間保存する場合は、年に 1 回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
- 涼しいところに保管してください。周囲の温度が 15℃〜 25℃の乾燥したところをおすすめします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。

充電について

- 初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは、ご使用の前に必ず充電してください。
- 充電するときは必ず指定の AC アダプターをご使用ください。
- バッテリーを充電する前に、放電したり、使いきったりする必要はありません。
- 充電が終わった後や使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電は周囲の温度が＋ 5℃〜＋ 40℃の範囲で可能ですが、バッテリーの性能を十分に発揮させるために、約＋ 10℃〜＋ 30℃の範囲で充電することをおすすめします。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

仕様

リチウムイオンバッテリー（PDR-BT3）

公称電圧	: 3.7V
公称容量	: 1035mAh
使用温度	: 5℃〜＋ 40℃
本体外形寸法	: 35.2mm X 53.0mm X 7.0mm（幅 X 高さ X 奥行き）
質量	: 約 28g

ACアダプターについて

必ず指定のACアダプター（CEX0107AまたはADP-15HH A）をご使用ください。ほかのACアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。
ご使用の際は、「安全上のご注意」（➡6ページ）および以下の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- ACアダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 接続するときは、ACアダプター本体のプラグをカメラのDC IN 5V端子にしっかり差し込んでください。
- ACアダプターのコードを抜くときは、カメラの電源を切り、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- バッテリー動作中にACアダプター本体のプラグを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACアダプターは室内専用です。
- ACアダプターはこのカメラ以外には使用しないでください。
- 使用中、ACアダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音がはいる場合がありますので、離してお使いください。
- カメラが動作中にバッテリーまたはACアダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。日時を設定し直してください。

仕様

	ACアダプター (CEX0107A)	ACアダプター (ADP-15HH A)
電源	AC100V ～ 240V 50/60 Hz	
定格入力容量（電気用品安全法）	AC 100V 33VA	AC 100V 31VA
定格出力	DC5V 3A	
使用温度	0°C ～ +40°C	
保存温度	–20°C ～ +65°C	
外形寸法（幅X高さX奥行）	40.0mm X 30.5mm X 94.2mm	50.0mm X 28.0mm X 65.0mm
本体質量	約150g	
付属品	ACコード	

- 付属のACコードは日本国内向け（AC100～125V）です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合したACコードをご使用ください。

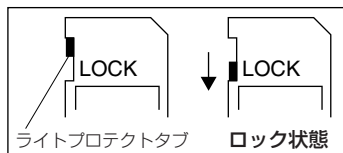
付属の SD メモリーカードについて

SD メモリーカードは、本書中では「SD カード」と記述します。
SD カードの取扱いについては、以下の点にご注意ください。

ご使用上の注意

- SD カードは不揮発性の半導体メモリー（NAND 型フラッシュメモリー）を内蔵しています。通常のご使用で記録したデータが破壊（消滅）することはありませんが、誤った使いかたをするとデータが破壊（消滅）することがあります。記録されたデータの破壊（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- SD カードはメモリーの一部を SD カードに基づくシステム領域として使用するため、ご使用いただけるメモリー容量は表示の容量より少なくなっています。
- 付属の SD カードはフォーマット済みですので、そのままご使用になれます。画像やフォルダを消去するためにフォーマットする場合は、必ずこのカメラでフォーマットしてください。SDロゴマークがついていない他の機器(パソコン等)でフォーマットすると、データの書きこみ、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがあります。
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- SDカードには寿命があります。長時間使用するうちに書き込みや消去ができなくなった場合は、新しい SD カードをお求めください。
- このカメラは、SD 規格 Ver.1.01 に準拠しています。

誤消去防止について

大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態（書き込み禁止状態）にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

仕様

メモリーの種類	：NAND 型フラッシュメモリー
動作温度	：0℃～＋ 55℃
保存温度	：－ 20℃～＋ 65℃
動作 / 保存湿度	：30% ～ 80%（結露しないこと）
外形寸法	：24.0mm × 32.0mm × 2.1mm（幅×高さ×奥行き）
質量	：約 2g

- 使用可能な市販のSDカードについては、ホームページでご確認ください。
  東芝デジタルスチルカメラホームページ：
  http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/
  2003 年 6 月までに発売された SD カードで検証を行なっています。
- 市販されているすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

準備する

各部のなまえ

モードダイヤル

シャッターボタン
⇨28ページ

POWERボタン
⇨25ページ

レンズ

マイク

セルフタイマーLED
(AF補助光)

ファインダー窓

フラッシュ
⇨32ページ

AV/OUT／
DIGITAL端子
⇨80、84、101ページ

DC IN 5V端子
⇨22ページ

ファインダー

視度調整ダイヤル
⇨28ページ

液晶モニター

MENUボタン

🗑(消去)ボタン
⇨74、75ページ

DISPボタン
⇨61ページ

三脚用ネジ穴

ファインダーLED
⇨28、100ページ

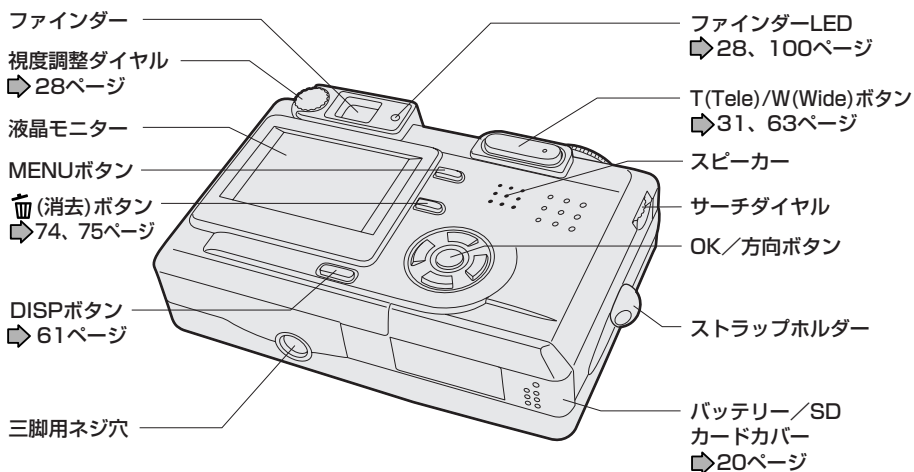
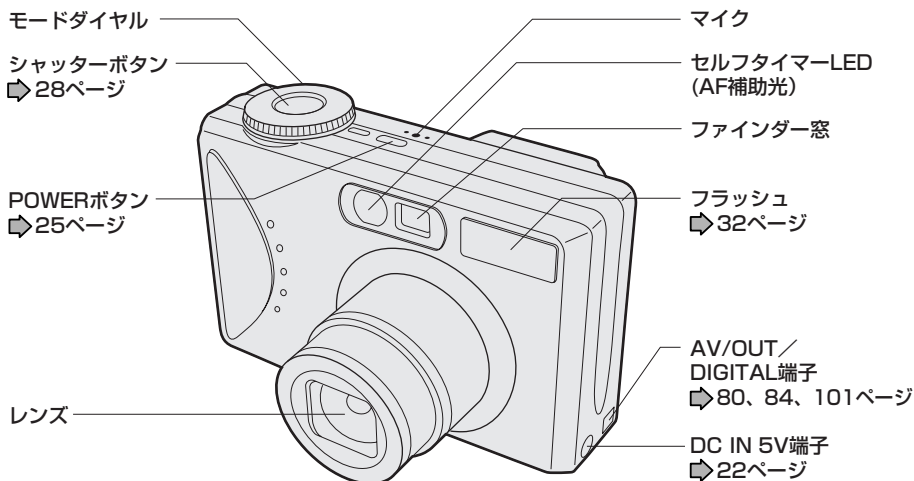
T(Tele)/W(Wide)ボタン
⇨31、63ページ

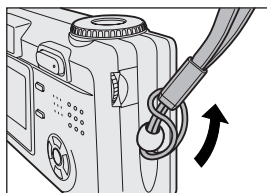
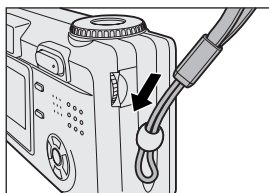
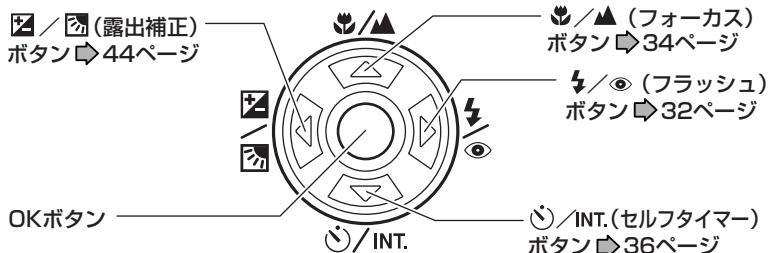
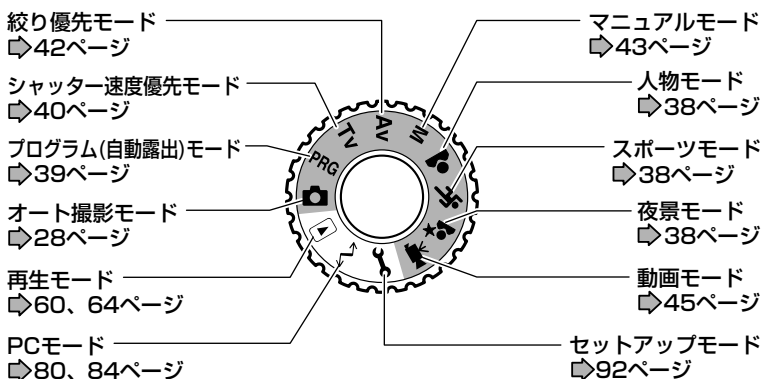
スピーカー

サーチダイヤル

OK／方向ボタン

ストラップホルダー

バッテリー／SD
カードカバー
⇨20ページ

■ ハンドストラップの取り付け

下の図のように取り付けてください。

■ OK／方向ボタン

■ モードダイヤル

アイコン	モード	内容	ページ
	セットアップ	カメラの基本設定をします。	92
	動画	動画を撮影します。	45
	夜景	夕暮れや夜景などを撮影したいときに選択します。	38
	スポーツ	動きの速い被写体を撮影したいときに選択します。	38
	人物	背景をぼかして人物を撮影したいときに選択します。	38
M	マニュアル	露出や絞りなどを手動で設定して撮影したいときに選択します。	43
Av	絞り優先	絞りを優先して撮影したいときに選択します。	42
Tv	シャッター速度優先	シャッター速度を優先して撮影したいときに選択します。	40
PRG	プログラム(自動露出)	シャッター速度と絞りを自動で、その他を手動で設定できます。	39
	オート撮影	カメラが自動的に露出などを設定します。	28
	再生	画像の再生、消去、プリント情報の書き込みなどをします。	60、64
	PC	画像をパソコンに取り込みます。	80、84

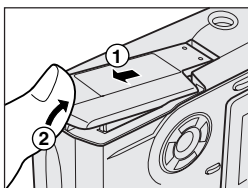
バッテリーを入れる・取り出す

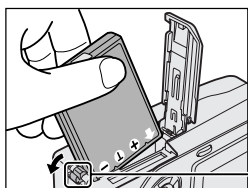
このカメラでは、専用の充電式リチウムイオンバッテリー（PDR-BT3）を使用します。本書中では「バッテリー」と記述します。これ以外のバッテリーは使用できません。カメラを使用する前には充電（➡ 22 ページ）を行なってください。

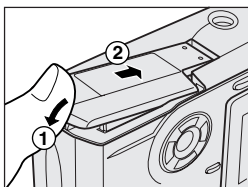
● **準備**

電源が切れていることを確認してください。

バッテリーを入れる

1 バッテリー／SD カードカバーを開ける

バッテリー／SDカードカバーを矢印の方向にスライドして ①、持ち上げます ②。

2 図のように正しい向きでバッテリーを入れる

バッテリーロックレバーを矢印の方向に倒しながら、バッテリー表面に貼られたラベルを液晶モニター側に向けて、バッテリーを入れます。
バッテリーが奥まではいるとロックされます。

3 バッテリー／SD カードカバーを閉める

バッテリー／ SD カードカバーを閉め ①、矢印の方向にスライドします ②。
カバーが確実に閉まっていることを確認してください。

- 正常な終了動作をしていない状態でバッテリーを入れた場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。

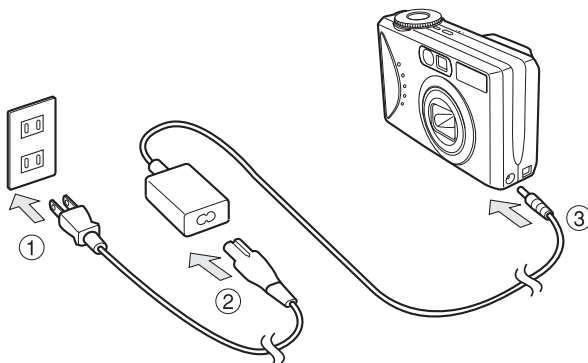
バッテリーを取り出す

バッテリー／SDカードカバーを開け、バッテリーロックレバーをはずし、バッテリーが少し出てきたら、ゆっくり引き抜く

- バッテリーを取り出すときは、必ずカメラの電源を切ってください。電源がはいった状態でバッテリーを取り出すと、故障や大切なデータが破壊される原因となることがあります。
- 電源がはいった状態でバッテリーを取り出すと、カメラの設定内容が初期状態に戻る場合があります。その場合は、設定をやり直してください。
- バッテリーを取り出すときは、誤って落下させないように気をつけてください。

充電する

カメラをはじめて使用するときや、バッテリー残量が少なくなったときにバッテリーを充電します。約４時間で充電できます。

● 準備
電源が切れていることを確認し、カメラにバッテリーを入れて（➡ 20ページ）ください。

1 ACコードの電源プラグをコンセントに差し込む

2 ACコードをACアダプター本体に差し込む

3 ACアダプターの接続プラグをカメラのDC IN 5V端子に差し込む

バッテリーの充電が始まると、ファインダーLEDが緑色に点灯します。充電が終了すると、ファインダーLEDが消えます。また、充電中に異常が発生すると、ファインダーLEDがオレンジ色に点灯します。
バッテリーの充電中にカメラを使用したいときは、ACアダプターを接続したままで使用してください。

- 充電中に異常が発生した場合は、ACコードの電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーを本体からはずしてください。
- ACアダプターの抜き差しは、必ず本体の電源を切ってから行なってください。電源がはいった状態で行なうと、バッテリーがはいっている状態であっても、故障や大切なデータが破壊される原因となることがあります。
- 正常な終了動作をしないでバッテリーを入れたり、ACアダプターを使用した場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。
- 炎天下など温度が高い状況で使用したときは、カメラが熱を持つため内部センサーが動作して、充電がすぐに始まらない場合があります。この場合はカメラの熱を十分に冷ましてから充電してください。

- カメラを屋内で長時間使用するときや、パソコンへ画像を転送するときなどは、AC アダプターの使用をおすすめします。
- バッテリーは、周囲温度が 10 ～ 30℃の環境で充電してください。

■ バッテリー残量表示

電源を入れると、液晶モニターにバッテリー残量が表示されます。

表示	(残量3)	(残量2)	(残量1)
意味	充分残っています	少なくなっています	ほとんど残っていません

バッテリーの消耗について

バッテリーの保存期間、カメラや電池の温度、撮影条件（フラッシュ使用の有無等）により、バッテリーの消耗は大きく変動します。また、バッテリーの＋極、－極、および電極に接するカメラの端子が汚れていると、電流が流れにくくなり、カメラはバッテリー残量がないものと判断してしまいます。バッテリーを出し入れするときには、これらの部分に触らないようにご注意ください。汚れていた場合は、乾いた布などで汚れをふき取ってください。
付属のリチウムイオンバッテリーを使用した場合、撮影枚数は以下のようになります。

撮影モード
条件　　：25℃、フラッシュ使用率 100%
撮影間隔：30 秒ごとに 1 枚撮影
撮影枚数：約 130 枚

再生モード
条件　　：25℃、スライドショー実行
再生時間：約 90 分

※ここに記載した撮影枚数および再生時間は参考値であり、これを保証するものではありません。

バッテリーの上手な使いかた

- カメラは電源が切れている状態でも微弱ながら電流を消費します。長時間使用しない場合はバッテリーを取りはずしておくことをおすすめします。約４時間程度取りはずしておくと、日付･時刻やその他の設定が初期設定に戻ることがあります。使用する前に再度設定してください。
- 寒冷地で使用するときは、カメラやバッテリーを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。
  低温のため低下したバッテリーの性能は、常温（約 25℃）に戻ると回復します。

バッテリーのリサイクルについて

不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従ってください。

Li-ion

充電式バッテリーの回収、リサイクル、およびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先
社団法人　電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.org.jp

SDカードを入れる・取り出す

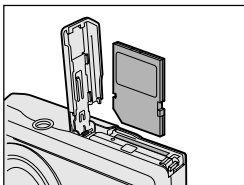
カメラで撮影した画像はSDカードに記録されます。カメラにSDカードがはいっていない状態では、撮影できません。

● **準備**

SDカードの抜き差しを行なう前に、カメラの電源を切ってください。

SDカードを入れる

1 バッテリー／SDカードカバーを開ける

2 図のように正しい向きでSDカードを入れる

カードの金属端子面を液晶モニター側に合わせ、しっかり奥まで差し込みます。

3 バッテリー／SDカードカバーを閉める

SDカードを取り出す

バッテリー／SDカードカバーを開け、一度カードを押し込み、カードが少し出てきたら、ゆっくり引き抜く

重要

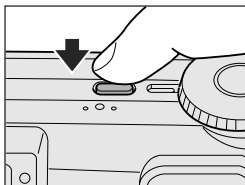
- SDカードへ記録中（ファインダーLEDが赤色に点灯中）は、絶対にバッテリー／SDカードカバーを開けたり、SDカードを取り出さないでください。SDカードやSDカードのデータが破壊されることがあります。
- 他の機器で使用したSDカードを使うときは、撮影する前に必ずこのカメラでフォーマットしてください（➪ 94ページ）。
- このカメラはMultiMediaCard™（マルチメディアカード）には対応していません。

電源を入れる・切る

● 準備

バッテリーとSDカードを入れてください。「バッテリーを入れる・取り出す」➡ 20ページ、「充電する」➡ 22ページ、「SDカードを入れる・取り出す」➡ 24ページ

電源を入れる

POWER ボタンを押し、電源を入れる

ファインダーLEDが緑色に点灯し、カメラが起動します。電源を入れたとき、モードダイヤルの状態によって起動するモードが異なります。

- 一定時間カメラを操作しなかったとき、自動的に電源が切れます。このことをオートパワーオフといいます。動作の状態に戻すには、もう一度電源を入れてください。
  「オートパワーオフ」➡ 95ページ
- 電源を入れたとき、フラッシュ充電に数秒かかることがあります。フラッシュ充電中は、ファインダーLEDがオレンジ色に点灯し、撮影はできません。ファインダーLEDが消えてから撮影してください。

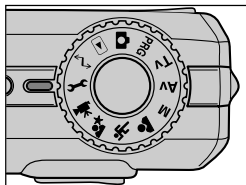
電源を切る

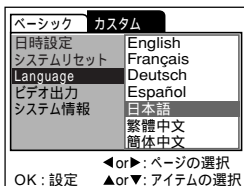
POWER ボタンを押し、電源を切る

電源が切れます。

言語／日時を設定する

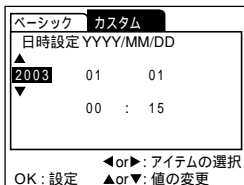
カメラをはじめて使用するときは、液晶モニターに［日時設定のデータが失われました］というメッセージが表示されますので、表示言語と日時を設定してください。
バッテリーを入れずに長時間放置したあとでカメラを使用したときも、同じメッセージが表示されますので、日時を設定してください。

モードダイヤルを［ ］に合わせ、▶ボタンを押す

セットアップメニューの［カスタム］が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで［Language］を選択し、OK ボタンを押す

言語が表示されます。
▲ ▼ ボタンで表示言語を選択し、OK ボタンを押します。
設定が保存されます。

3 ▲ ▼ ボタンで［日時設定］を選択し、OK ボタンを押す

日時設定画面が表示されます。

4 ◀ ▶ ボタンで設定項目を選択し、▲ ▼ ボタンで日付と時間を設定する

設定内容を確認し、OK ボタンを押す

設定が保存され、セットアップメニューに戻ります。

撮影する

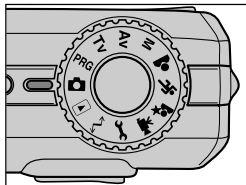
[📷] オート撮影モードで撮影する

オート撮影モードは一般的な撮影方法です。撮影状況に応じて、自動的に露出（シャッター速度と絞りの組み合せ）を制御するので、簡単に撮影できます。

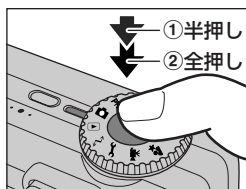
1 撮影の準備をする

バッテリー（➡ 20 ページ）と SD カード（➡ 24 ページ）をカメラに入れてください。

2 POWER ボタンを押し、電源を入れる

3 モードダイヤルを［ 📷 ］に合わせる

4 液晶モニター、またはファインダーを見ながら構図を決める

ファインダーを使用する場合、ファインダーの画像が鮮明に表示されるまで「視度調整ダイヤル」を回します。
液晶モニターが明るすぎる、または暗すぎる場合は、明るさを調節してください。
「液晶の明るさ」➡ 52ページ

5 シャッターボタンを半押し ①、全押し ② する

半押しで自動的にピントと露出を合わせ、全押しで撮影されます。
ピントと露出が合うと、フォーカスエリアの枠が水色になり、ファインダー LED が緑色に点灯します。
ピントまたは露出が合っていない場合、フォーカスエリアの枠が黄色になり、ファインダー LED が赤色に点滅します。

撮影プレビューを「オン」に設定していると、プレビュー画像（撮影された画像）が SD カードに画像を記録している間、表示されます。
「プレビュー」➡ 53ページ
音声メモを「オン」に設定していると、撮影直後、画面に [VOICE RECORDING] と表示され、音声メモの録音が開始されます。
「音声メモを録音する」➡ 51、73ページ

重要
- 撮影後、画像が SD カードへ記録されている間は、ファインダー LED が赤色に点灯します。ファインダー LED が赤色に点灯している間は、バッテリー／ＳＤカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。SD カードや SD カードのデータが破壊される場合があります。
- 撮影するときは、レンズやフラッシュに、ストラップや指などがかからないようにしてください。

ピントを合わせる

- 画面の中央以外にピントや露出を合わせたいときは、目的の被写体を画面の中央に移動し、半押し（AF・AE ロック）状態にしたまま、構図を戻して全押し（撮影）します。
- 本製品は正確なオートフォーカス機構を採用していますが、以下のような条件・被写体に対してはオートフォーカスがはたらきにくく、ピントが合わないことがあります。

  ・被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
  ・鏡・車のボディーなど光沢があるもの
  ・髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
  ・コントラスト（明暗の差）が極端に低いとき（背景と同色の服を着ている人物など）
  ・高速で移動する被写体
  ・煙や炎などの実体のないもの
  ・ガラス越しの被写体
  ・被写体が遠くて暗いとき

- 液晶モニターには、常に明るい点、暗い点、色がついている点などが見える場合がありますが、故障ではありません。また、記録される画像には、このような点はありません。
- シャッターボタンを半押ししてから、ピントが合うまでの間、液晶モニターの画像が暗くなる場合があります。
- シャッターボタンを押すときカメラが動くと、写真がブレる原因となります。
- ピントが合わない場合、オートフォーカス撮影時は約 2m の位置で固定します。マクロ撮影時はズームの位置によって Wide 側約 20cm ～ Tele 側約 70cm の間で固定します。
  「フォーカスを設定する」➡ 34ページ
- フラッシュ充電に数秒かかることがあります。フラッシュ充電中はファインダーLED がオレンジ色に点灯します。ファインダーLED がオレンジ色に点灯している間は、撮影できません。
- 暗い場所で撮影する場合は、シャッター速度が遅くなり、シャッターボタンを半押ししたとき手ブレ警告アイコン［ ］が表示されます。手ブレ防止のため、三脚の使用をおすすめします。
- 被写体が暗い場合、ピント合わせの補助光として、セルフタイマーLEDが点灯します。
- 撮影モードで OK ボタンを押すと、最後に撮影した画像を再生することができます。もう一度 OK ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

撮影時の液晶モニター表示

撮影モード [📷] [👤] [🏃] [👤★]

表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

撮影モード [PRG] [Tv] [Av] [M]

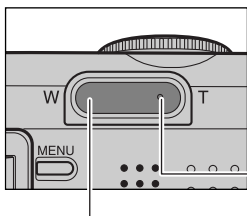
表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

メモ
- DISPボタンを押すごとに、通常表示（アイコンなどを表示）、表示OFF、液晶モニターOFFの順に切り換わります。

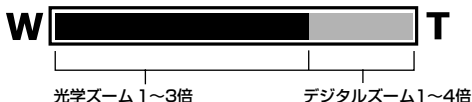
ズーム撮影する

被写体との距離に応じて、3倍光学ズーム、4倍デジタルズームを使って、最大12倍までのズーム撮影ができます。

1 モードダイヤルを撮影モードのいずれかに合わせる

2 T(Tele)ボタンまたはW(Wide)ボタンでズームの度合いを調節し、構図を決める

Tボタンを押すとズームし、遠くにあるものを大きく撮影できます。Wボタンを押すと、広い範囲を撮影できます。
T/Wボタンの状態によって、レンズの位置が動きます。

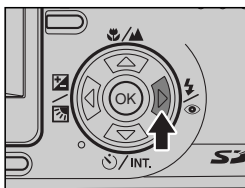
3 シャッターボタンを半押し、全押しする

- デジタルズームは、撮影メニューでオン／オフを設定できます。
  「デジタルズーム」➡ 52ページ
- 電源を切るか、オートパワーオフがはたらくと、Tボタンおよび Wボタンの設定は自動的に解除されます。
- DISPボタンを押し、液晶モニターをOFFにした場合、デジタルズームは解除されます。
- 画面でズームの状態を確認できます。

フラッシュを設定する

フラッシュを設定して撮影します。撮影する状況に応じて、フラッシュの発光モードを設定できます。
フラッシュが有効な距離は約0.8m～3.0m（感度ISO200）です。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

1 モードダイヤルを撮影モードのいずれかに合わせる

選択した撮影モード、シーンモード、キャプチャモードによって、フラッシュの設定は制限されます。
「シーンモードを設定する」➪ 38ページ、「キャプチャモード」➪51ページ

2 ▶ ボタンを押して、フラッシュを選択する

▶ ボタンを押すごとに、画面に以下の順番でアイコンが表示されます。

[📷]モードの場合：

[表示無し] オート→[👁⚡] 赤目軽減 → [⚡] 強制発光 → [🚫] 発光禁止 → [表示無し] オート

[PRG]、[Tv]、[Av]、[M]モードの場合：

[👁⚡] 赤目軽減 → [⚡] 強制発光 → [🚫] 発光禁止 → [👁⚡] 赤目軽減

はじめに
準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

[表示無し］オート

撮影状況に応じて、フラッシュが自動的に発光します。[ ]モードに設定しているときだけ選択できます。

[ ] 赤目軽減

赤目現象（ 用語 109ページ）を軽減し、暗いところで瞳を自然に撮りたいときに使用します。撮影するとき、被写体（人）にカメラへ視線を向けてもらったり、なるべく近づいて撮影したりすると、赤目軽減の効果があります。
フラッシュが必ず２回発光し、２回目の発光時に撮影されます。
[ ]モードに設定している場合は、被写体の明るさに応じて発光します。

[ ] 強制発光

必ずフラッシュが発光します。逆光、蛍光灯などの人工照明下で撮影するときに使用します。

[ ] 発光禁止

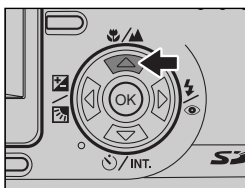
室内照明を利用した撮影、舞台や室内競技など、フラッシュの光が届かない距離での撮影に使用します。

- [ ] モードでは、[ ] 赤目軽減固定です。
- [ ] モードでは、[ ] 発光禁止固定です。
- [ ] モードでは、[ ] 強制発光固定です。
- [ ] モード、キャプチャモードが［連写］、［AEB］では、フラッシュは使用できません。
- フォーカスに［ ］を設定している場合は、［ ］発光禁止固定です。

フォーカスを設定する

オートフォーカス、[🌷] マクロ、[▲] 無限遠、[3m] 3m 固定、[1m] 1m 固定など、被写体との距離を設定して撮影できます。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。
選択した撮影モードによって、フォーカスの設定は制限されます。

1 モードダイヤルを撮影モードのいずれかに合わせる

2 ▲ ボタンを押して、フォーカスを選択する

▲ ボタンを押すごとに、画面に以下の順番でアイコンが表示されます。

[📷]、[PRG]、[Tv]、[Av]、[M]、[🏃]、[🎥]モードの場合：

[表示無し]オートフォーカス → [🌷] マクロ → [▲] 無限遠 → [3m]3m 固定 → [1m]1m 固定 → [表示無し]

[👤]、[👤★]モードの場合：

[表示無し]オートフォーカス → [▲] 無限遠 → [3m]3m 固定 → [1m]1m 固定 → [表示無し]

[表示なし] オートフォーカス

カメラにまかせて気軽に撮影したいときに選択します。

[ ] マクロ

近くの被写体を撮影したいときに選択します。
Wide 側（ズーム無し）　　　：約 9cm ～∞
Tele 側（光学ズーム 3 倍時）：約 30cm ～∞

[ ] 無限遠

距離が約 5m 以上の被写体を撮影したいときに選択します。

[ ] 3m 固定

距離が約 3m の被写体を撮影したいときに選択します。

[ ] 1m 固定

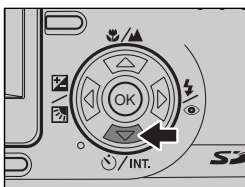
距離が約 1m の被写体を撮影したいときに選択します。

- [ ]、[ ]、[ ] に設定すると、カメラがそれぞれの距離にフォーカスを固定して撮影します。

セルフタイマー／インターバルで撮影する

セルフタイマー撮影とインターバル撮影ができます。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらくと解除されます。

1 モードダイヤルを撮影モードのいずれかに合わせる

2 ▼ ボタンを押して、設定値を選択する

▼ ボタンを押すごとに、画面に以下の順番でアイコンが表示されます。

OFF → [10S]10 秒 → [2S]2 秒 → [10+2]10 秒 +2 秒 → [Intv] インターバル → OFF

ただし、[動画] モード、キャプチャモードが［連写］［AEB］の場合：

OFF → [10S]10 秒 → [2S]2 秒 → OFF

3 構図を決め、シャッターボタンを半押し、全押しする

セルフタイマーLEDが点滅し、設定した時間後に撮影されます。
液晶モニターにはカウントダウンが表示されます。
途中でやめるときは、OKボタンを押してください。

- 連続撮影はできません。
- セルフタイマーの設定は、1 回撮影するたびに解除されます。
- セルフタイマーの設定は、[2S] を使用すると、シャッター押下時の手ブレ防止に効果的です。
- インターバル撮影できる回数はSDカードの容量や画像設定などにより異なります。

[10S] 10秒後

シャッターボタンを押してから、約10秒後に撮影されます。

[2S] 2秒後

シャッターボタンを押してから、約2秒後に撮影されます。

[10+2] 10＋2秒後

シャッターボタンを押してから、約10秒後に撮影され、さらに撮影準備（SDカードへの書き込みとフラッシュの充電）が完了してから2秒後にもう一度撮影されます。
集合写真など連続して撮影したいときに便利です。

[Intv] インターバル

一定の間隔と撮影回数を設定して撮影できます。
撮影間隔は1、3、10、60分、撮影回数は2～99回の間で設定できます。
撮影と撮影の合い間はファインダーLEDが赤色に点滅し、自動的にカメラの電源が切れた状態になります。
「インターバル」➪ 54ページ

シーンモードを設定する

[ ] 人物、[ ] スポーツ、[ ] 夜景などのシーンを設定して撮影します。

1 モードダイヤルを [ ] [ ] [ ] のいずれかに合わせる

メモ
- [ ]、[ ] モードに設定している場合、フォーカスに [ ] マクロは選択できません。

[ ] 人物

人物をうきだたせ、背景をぼかして撮影したいときに選択します。
フラッシュは、赤目軽減効果のある [ ] 赤目軽減固定となります。

[ ] スポーツ

動きの速い被写体を撮影したいときに選択します。
フラッシュは使用できません。

[ ] 夜景

夕暮れや夜景を背景にして、人物を撮影したいときに選択します。
フラッシュは、[ ] 強制発光固定となります。

メモ
- 各シーンの説明は一般的な目安です。お好みに合わせて設定してください。

[PRG]プログラム（自動露出）モードで撮影する

被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度と絞りを自動セットします。[📷] モードを選択した場合と同じように気軽に撮影することができます。

1 モードダイヤルを［ PRG ］に合わせる

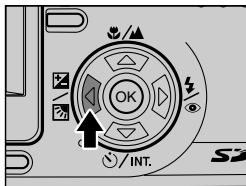
2 構図を決め、シャッターボタンを半押し、全押しする

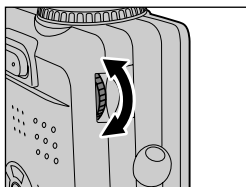
メモ
- 露出補正を設定することができます。
「露出補正／逆光補正する」（➡ 44 ページ）

［ Tv ］シャッター速度優先モードで撮影する

シャッター速度を優先して撮影します。シャッター速度に応じて、自動的に絞りを設定します。シャッター速度を速くすると、動いている被写体が静止しているような写真を撮影できます。シャッター速度を遅くすると、流動感を感じさせる写真を撮影できます。

1 モードダイヤルを［ Tv ］に合わせる

2 ◀ボタンを押し、シャッター速度を選択する

◀ボタンを押すごとに［ ］逆光補正、［ ］露出補正、［シャッター速度］が選択されます。
［シャッター速度］が水色の表示になるまで◀ボタンを押します。

3 サーチダイヤルでシャッター速度の値を設定する

設定範囲は以下のとおりです。

サーチダイヤルを上へ回す（高速側へ）
1/1500、1/1250、1/1000、1/800、1/640、1/500、1/400、1/320、1/250、1/200、1/160、1/125、1/100、1/80、1/60、1/50、1/40、1/30、1/25、1/20、1/15、1/13、1/10、1/8、1/6、1/5、1/4、0.3s、0.4s、0.5s、0.6s、0.8s、1s、1.3s、1.6s、2s、2.5s、3.2s、4s、5s、6s、8s
サーチダイヤルを下へ回す（低速側へ）

画面にシャッター速度とその値に応じた絞りが表示されます。適切な組合せに設定できない場合、絞りの値が赤で表示されますが、撮影はできます。
あわせて◀ボタンで露出補正と逆光補正（➡44 ページ）ができます。

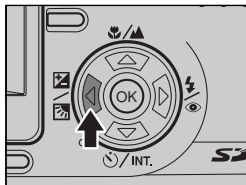
4 構図を決め、シャッターボタンを半押し、全押しする

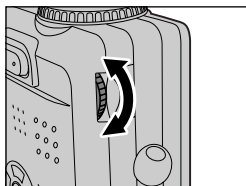
- シャッター速度を0.6秒より低速に設定すると、長時間露光撮影となり、画面に［ ］が表示されます。
- フラッシュ撮影で［ ］強制発光、［ ］赤目軽減に設定している場合、シャッター速度は自動的に0.5秒から1/250秒の間に制限されます。
- AEB撮影（51ページ）と連写撮影（51ページ）では、シャッター速度を0.6秒より低速に設定できません。

［Av］絞り優先モードで撮影する

絞りを優先して撮影します。絞りに応じて、自動的にシャッター速度を設定します。
絞りの値を小さく（開放側へ）すると、背景をぼかした人物写真などが撮影できます。
逆に、絞りの値を大きく（絞り側へ）すると、風景などを手前から遠くまで鮮明に撮影できます。

1 モードダイヤルを［ Av ］に合わせる

2 ◀ボタンを押し、絞りを選択する

◀ボタンを押すごとに［ ］逆光補正、［ ］露出補正、［絞り］が選択されます。
［絞り］が水色の表示になるまで◀ボタンを押します。

3 サーチダイヤルで絞りの値を設定する

設定範囲は以下のとおりです。

サーチダイヤルを上へ回す（絞り側へ）
F6.7/F5.6/F4.8/F4.0/F3.5/F2.8
サーチダイヤルを下へ回す（開放側へ）

画面に、絞りとその値に応じたシャッター速度が表示されます。適切な組合せに設定できない場合、シャッター速度の値が赤で表示されますが、撮影はできます。
あわせて◀ボタンで露出補正と逆光補正（⇨44 ページ）ができます。

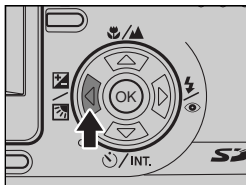
4 構図を決め、シャッターボタンを半押し、全押しする

メモ
• ズームレンズの位置によって絞りの値は自動的に調整されます。

［M］マニュアルモードで撮影する

絞りの値とシャッター速度の値をそれぞれ個別に設定して撮影します。

1 モードダイヤルを［ M ］に合わせる

2 ◀ボタンでシャッター速度または絞りを選択する

◀ボタンを押すごとに「シャッター速度」と「絞り」が交互に選択されます。設定する値が水色の表示になるまで◀ボタンを押します。

3 サーチダイヤルでシャッター速度または絞りの値を設定する

4 構図を決め、シャッターボタンを半押し、全押しする

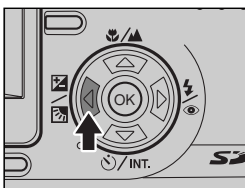
メモ

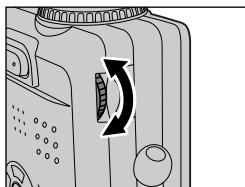
- フラッシュ撮影で［ ⚡ ］強制発光、［ 👁⚡ ］赤目軽減に設定している場合、シャッター速度は自動的に0.5秒から1/250秒の間に制限されます。

露出補正／逆光補正する

画面全体を意図的に明るくしたり、暗くしたりして撮影できます。被写体と背景の明るさの差（コントラスト）が大きい場合や、撮影したい被写体が画面内で極端に小さい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに設定します。露出は 1/3EV 単位で設定できます。

1 モードダイヤルを［ PRG ］［ Tv ］［ Av ］のいずれかに合わせる

2 ◀ボタンを押し、露出補正を選択する

◀ボタンを押すごとに［表示なし］、［ ］逆光補正、［ ］露出補正の順に表示されます。

3 サーチダイヤルで露出の値を設定する

露出補正の設定範囲は以下のとおりです。

サーチダイヤルを上へ回す（－側へ）
－ 2.0/ － 1.7/ － 1.3/ － 1.0/ － 0.7/ － 0.3/
0/+0.3/+0.7/+1.0/+1.3/+1.7/+2.0
サーチダイヤルを下へ回す（＋側へ）

値が大きいほど明るく、小さいほど暗くなります。
画面には、設定した値が表示されます。

効果のある被写体と設定値

■ ＋（プラス）補正

- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の場合
- 逆光の場合
- スキー場などの明るい場面や反射が強い場合
- 画面内の大部分を空が占める場合

■ －（マイナス）補正

- スポットライトを浴びた人物、特に背景が暗い場合
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の場合
- 常緑樹、または色の濃い葉など反射率が低い場合

■ 逆光補正（+1.3 固定）

- 背景が明るく、被写体が暗い場合
- 太陽などの光源を背にした人物など

メモ
- ［ ］［ ］［ ］モードでは、逆光補正の設定ができます。

動画を撮影する

動画を撮影します。音声も録音します。

1 モードダイヤルを［ 🎥 ］に合わせる

2 シャッターボタンを全押しする

動画の撮影が始まります。
もう一度シャッターボタンを全押しすると、動画の撮影を終え、画像がSDカードに記録されます。

■ 動画の記録時間について

SDカードに記録できる目安は以下のとおりです。

サイズ / クオリティ	QVGA 320 x 240	QQVGA 160 x 120
★★★	30秒	1分30秒
★★	45秒	2分00秒
★	1分00秒	3分00秒

重要

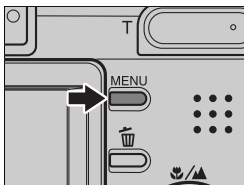
- 撮影後、画像がSDカードへ記録されている間は、ファインダーLEDが赤色に点灯します。ファインダーLEDが赤色に点灯している間は、バッテリー／SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。SDカードやSDカードのデータが破壊される場合があります。

メモ

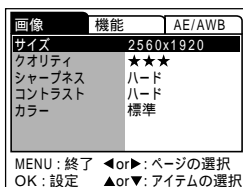
- ［ 🎥 ］モードの撮影は、静止画の撮影より電池の消耗が早くなることがあります。
- ［ 🎥 ］モードでは、フラッシュ撮影できません。
- 動画撮影時、音声にレンズ音がはいる場合があります。
- 動画撮影中、カメラのマイクに指などがかからないようにしてください。
- 動画は静止画よりもSDカードへの記録に時間がかかります。
- 液晶モニター右下に表示される撮影可能時間は、カウントダウンされます。

撮影メニューの設定を変更する（画像）

撮影モードのときに、どのような基本設定で撮影するかを設定します。設定した内容は、電源を切ったりオートパワーオフがはたらいても保持されます。

1 モードダイヤルを撮影モードのいずれかに合わせる

2 MENU ボタンを押す

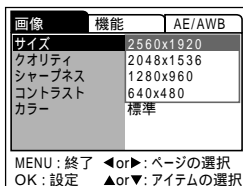
撮影メニューの［ 画像 ］が表示されます。

3 ▲ ▼ ボタンで設定項目を選択し、OK ボタンを押す

（例）[サイズ]を選択した場合

選択した設定項目の設定値が表示されます。

サイズ ➡47 ページ
クオリティ ➡48 ページ
シャープネス ➡48 ページ
コントラスト ➡49 ページ
カラー ➡49 ページ

メモ
- ［ ］モードでは［シャープネス］の設定はありません。

4 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

設定が保存されます。

5 撮影メニューを終了するときは、MENU ボタンを押す

撮影できる状態になります。

サイズ

撮影する画像のサイズを設定します。
用途と SD カードの空き容量に応じて設定してください。

撮影メニューの [画像] から▲ ▼ ボタンで [サイズ] を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

▲ ▼ ボタンで画像 サイズを選択し、OK ボタンを押す

設定が保存されます。

[静止画]
2560 × 1920 ピクセル
2048 × 1536 ピクセル
1280 × 960 ピクセル
640 × 480 ピクセル

[動画]
320 × 240 ピクセル
160 × 120 ピクセル

■標準撮影可能枚数（静止画）

被写体によって、記録されるデータ量が異なるため、記録後の撮影可能枚数が減らない、または 2 枚分減る場合があります。

画像サイズ	クオリティ	SDカードの容量						
		8MB	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB
5M 2560X1920 ピクセル	★★★	2	6	13	27	55	105	222
	★★	4	10	22	46	93	177	374
	★	9	20	42	86	174	331	698
3M 2048X1536 ピクセル	★★★	4	10	22	46	93	177	374
	★★	8	17	36	74	150	286	604
	★	15	34	72	149	301	573	1208
1.2M 1280X960 ピクセル	★★★	9	20	42	86	174	331	698
	★★	15	34	72	149	301	572	1208
	★	28	60	126	258	522	994	2094
0.3M 640X480 ピクセル	★★★	31	69	145	298	602	1147	2417
	★★	48	100	210	430	870	1657	3491
	★	91	181	379	775	1566	2984	6284

★★★ファイン　★★ノーマル　★ベーシック

動画については「動画を撮影する」（➪45 ページ）をご覧ください。

クオリティ

撮影する画質（圧縮率）を設定します。

1 撮影メニューの［画像］から▲ ▼ ボタンで［ クオリティ ］を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで画質を選択し、OK ボタンを押す

画像	機能	AE/AWB
サイズ	2560x1920	
クオリティ	★★★	
シャープネス	★★	
コントラスト	★	
カラー	標準	

MENU：終了　◀or▶：ページの選択
OK：設定　▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

★★★（ファイン）：低圧縮率（高画質）
★★（ノーマル）：標準
★（ベーシック）：高圧縮率

シャープネス

撮影する画像のタッチを設定します。
動画モードでは設定できません。

1 撮影メニューの［画像］から▲ ▼ ボタンで［ シャープネス ］を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

2 ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

画像	機能	AE/AWB
サイズ	2560x1920	
クオリティ	★★★	
シャープネス	ハード	
コントラスト	ノーマル	
カラー	ソフト	

MENU：終了　◀or▶：ページの選択
OK：設定　▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

ハード：かたいタッチ
ノーマル：普通のタッチ
ソフト：やわらかいタッチ

コントラスト

撮影する画像の明暗の差を設定します。

1 撮影メニューの［画像］から▲ ▼ ボタンで［コントラスト］を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

画像 機能 AE/AWB
サイズ 2560x1920
クオリティ ★★★
シャープネス ハード
コントラスト ハード
カラー ノーマル
ソフト
MENU：終了 ◀or▶：ページの選択
OK：設定 ▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

ハード	：	明暗の差を大きくする
ノーマル	：	自動設定
ソフト	：	明暗の差を小さくする

カラー

撮影する画像の色調を設定します。

1 撮影メニューの［画像］から▲ ▼ ボタンで［カラー］を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

画像 機能 AE/AWB
サイズ 2560x1920
クオリティ ★★★
シャープネス 標準
コントラスト あざやか
カラー セピア
モノクロ
MENU：終了 ◀or▶：ページの選択
OK：設定 ▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

標準	：	カラー
あざやか	：	ややあざやかなカラー
セピア	：	セピア
モノクロ	：	白黒

撮影メニューの設定を変更する（機能）

1 モードダイヤルを撮影モードのいずれかに合わせる

2 MENU ボタンを押し、▶ボタンで［機能］を選択する

撮影メニューの［機能］が表示されます。

3 ▲ ▼ ボタンで設定項目を選択し、OK ボタンを押す

（例）[キャプチャモード]を選択した場合

選択した設定項目の設定値が表示されます。

キャプチャモード ⇨51 ページ
音声メモ ⇨51 ページ
液晶の明るさ ⇨52 ページ
デジタルズーム ⇨52 ページ
プレビュー ⇨53 ページ
インターバル ⇨54 ページ

メモ
- ［ 🎥 ］モードでの設定項目は、［液晶の明るさ］と［デジタルズーム］の２つです。

4 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

画像 | 機能 | AE/AWB
キャプチャモード 1ショット
音声メモ 連写
液晶の明るさ AEB
デジタルズーム オン
プレビュー オン
インターバル 次のメニュー
MENU：終了 ◀or▶：ページの選択
OK：設定 ▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

5 撮影メニューを終了するときは、MENU ボタンを押す

撮影できる状態になります。

キャプチャモード

撮影するときの記録方法を設定します。

1 **撮影メニューの［機能］から▲ ▼ ボタンで［キャプチャモード］を選択し、OK ボタンを押す**

設定値が表示されます。

2 **▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す**

画像	機能	AE/AWB
キャプチャモード	1ショット	
音声メモ	連写	
液晶の明るさ	AEB	
デジタルズーム	オン	
プレビュー	オン	
インターバル	次のメニュー	

MENU：終了　◀or▶：ページの選択
OK：設定　▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

1 ショット　：　1 枚ずつ撮影する
連写　：　最速 0.5 秒間隔で最大 3 枚まで連続撮影する
AEB　：　自動的に2/3EVずつずらして3段階（0、－0.7、+0.7）の露出で連続撮影する
露出を決めるのが難しい場合に有効

メモ
- 連写では、3 枚撮り終える前にシャッターボタンを離すと、その時点で撮影が終了します。

音声メモ

静止画撮影直後、音声メモを 10 秒間録音することができます。

1 **撮影メニューの［機能］から▲ ▼ ボタンで［音声メモ］を選択し、OK ボタンを押す**

設定値が表示されます。

2 **▲ ▼ ボタンで［オン］または［オフ］を選択し、OK ボタンを押す**

設定が保存されます。

オン　：撮影時に音声メモを録音する
オフ　：撮影時に音声メモを録音しない

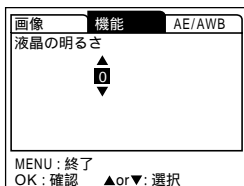
- 画像再生時にも音声メモを録音できます。
「音声メモを録音する」➪ 73ページ

液晶の明るさ

液晶モニターの明るさを調節します。

1 撮影メニューの［機能］から▲ ▼ ボタンで［液晶の明るさ］を選択し、OK ボタンを押す

液晶の明るさ設定画面が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで明るさを調節する

▼ ボタンで暗く、▲ ボタンで明るくなります。調節範囲は－５～＋５の 11 段階です。

3 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

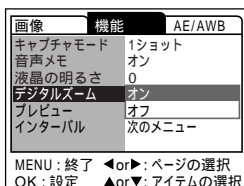
撮影メニューの［機能］に戻ります。

デジタルズーム

画面中央部をデジタル処理により、さらに拡大できます。
光学３倍×デジタル４倍ズームにより、被写体を最大 12 倍まで拡大して撮影できます。
画素補完技術によりデジタルズームのときも、設定した記録画素数で画像が記録されます。

1 撮影メニューの［機能］から▲ ▼ ボタンで［デジタルズーム］を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで［オン］または［オフ］を選択し、OK ボタンを押す

設定が保存されます。

オン　：デジタルズームを使用する
オフ　：デジタルズームを使用しない

プレビュー

撮影した画像を撮影直後に、画面上に表示するかしないかを設定します。
撮影した画像の構図や明るさを確認するのに有効です。
プレビューをキャンセルする場合はシャッターボタンを半押しします。

1 撮影メニューの[機能]から▲ ▼ ボタンで[プレビュー]を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで［オン］または［オフ］を選択し、OK ボタンを押す

設定が保存されます。

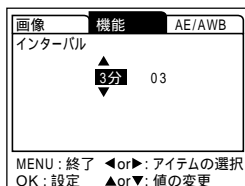
オン　：画像を SD カードに記録する間表示する
オフ　：表示しない

インターバル

設定した回数を一定時間ごとに自動撮影します。
▼ ボタンで［ Intv ］を設定した場合に有効になります。

1 撮影メニューの［機能］から▲ ▼ ボタンで［インターバル］を選択し、OK ボタンを押す

インターバル設定画面が表示されます。

2 ◀ ▶ボタンで時間、回数を選択し、▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

設定が保存されます。

1 分	：	1 分間隔で撮影する
3 分	：	3 分間隔で撮影する
10 分	：	10 分間隔で撮影する
60 分	：	60 分間隔で撮影する
撮影回数	：	2 〜 99 回の間で設定

- 撮影できる回数は SD カードの容量や画像設定などにより異なります。
- 撮影と撮影の合い間は、ファインダーLED が赤色に点滅し、自動的にカメラの電源が切れた状態になります。

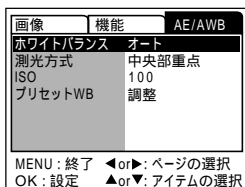
撮影メニューの設定を変更する（AE/AWB）

1 モードダイヤルを撮影モードのいずれかに合わせる

［ ］、［ ］を選択している場合は［AE/AWB］メニューは表示されません。

2 MENUボタンを押し、▶ボタンで［AE/AWB］を選択する

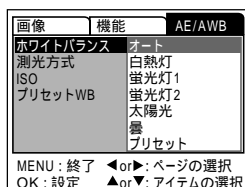
撮影メニューの［AE/AWB］が表示されます。

3 ▲ ▼ ボタンで設定項目を選択し、OK ボタンを押す

（例）[ホワイトバランス] を選択した場合

選択した設定項目の設定値が表示されます。

ホワイトバランス　➪56 ページ
測光方式　➪56 ページ
ISO　➪57 ページ
プリセット WB　➪58 ページ

- ［ ］［ ］［ ］モードでは、［ISO］の設定はありません。

4 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

画像　機能　AE/AWB
ホワイトバランス　オート
測光方式　白熱灯
ISO　蛍光灯1
プリセットWB　蛍光灯2
太陽光
曇
プリセット
MENU：終了　◀or▶：ページの選択
OK：設定　▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

5 撮影メニューを終了するときは、MENU ボタンを押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランス

さまざまな照明下で撮影するときのホワイトバランスを設定し、人間の目で見た状態に近づけて撮影します。

「ホワイトバランス」➡ 用語 109ページ

1 撮影メニューの［AE/AWB］から▲ ▼ ボタンで［ホワイトバランス］を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

画像	機能	AE/AWB
ホワイトバランス	オート	
測光方式	白熱灯	
ISO	蛍光灯1	
プリセットWB	蛍光灯2	
	太陽光	
	曇	
	プリセット	

MENU：終了　◀or▶：ページの選択
OK：設定　▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

オート	：	自動調整
白熱灯	：	白熱灯下での撮影
蛍光灯 1	：	昼光色蛍光灯下での撮影（青みがかった蛍光灯の場合）
蛍光灯 2	：	昼白色蛍光灯下での撮影（赤みがかった蛍光灯の場合）
太陽光	：	屋外撮影
曇	：	曇り空での撮影
プリセット	：	プリセット WB で設定したホワイトバランスでの撮影（➡58 ページ）

測光方式

露出を計算するための測光方式を設定します。

撮影メニューの［AE/AWB］から▲ ▼ ボタンで［測光方式］を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

画像	機能	AE/AWB
ホワイトバランス	オート	
測光方式	中央部重点	
ISO	スポット	
プリセットWB	調整	

MENU：終了　◀or▶：ページの選択
OK：設定　▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

中央部重点	：	画面中央部に重点をおいて画面全域を測光し、露出を決める
スポット	：	画面中央のごく狭い部分を測光し、露出を決める

はじめに
準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

ISO

撮影時の感度を設定します。感度をあげる（ISOの数値を大きくする）と、暗い場所でも撮影ができるようになりますが、画像にノイズが増えます。

1 撮影メニューの［AE/AWB］から▲ ▼ ボタンで［ ISO ］を選択し、OK ボタンを押す

設定値が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

画像	機能	AE/AWB
ホワイトバランス	オート	
測光方式	中央部重点	
ISO	100	
プリセットWB	200	
	400	
	オート	

MENU：終了　◀or▶：ページの選択
OK：設定　▲or▼：アイテムの選択

設定が保存されます。

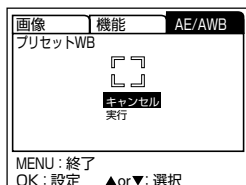
100　：ISO100 相当撮影
200　：ISO200 相当高感度撮影
400　：ISO400 相当高感度撮影
オート：ISO100～200の範囲で自動設定（［ PRG ］モードに設定しているときだけ選択可能）

プリセットWB

ホワイトバランスを手動で設定し、登録します。
ホワイトバランスがうまく合わないときなどに使用すると便利です。

1 撮影メニューの［AE/AWB］から▲ ▼ ボタンで［プリセットWB］を選択し、OK ボタンを押す

プリセットWB 設定画面が表示されます。

2 ホワイトバランスを設定する被写体（白い皿や紙など）を中央の枠内におさめる

3 ▲ ▼ ボタンで［実行］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、撮影メニューの［AE/AWB］に戻ります。

再生／消去する

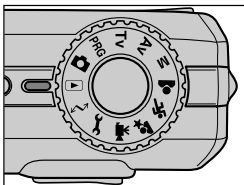
- 再生する
- 画像情報を表示する
- 画像を一覧表示（サムネイル表示）する
- 画像を拡大表示する
- 動画を再生する
- 再生メニューの設定を変更する
- 画像をプロテクトする
- DPOFを設定する
- 音声メモを録音する
- 画像を消去する

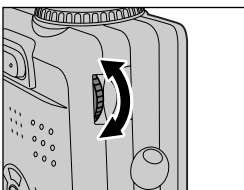
再生する

撮影した画像を液晶モニターで再生します。

● **準備**

SD カードをカメラに入れ（➡ 24 ページ）、電源を入れてください。

モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最後の画像が液晶モニターに表示されます。
液晶モニターが明るすぎる、または暗すぎる場合は、明るさを調節してください。
「液晶の明るさ」➡ 52ページ

2 サーチダイヤルを回して、順送り／逆送りする

上に回す：逆送り
下に回す：順送り

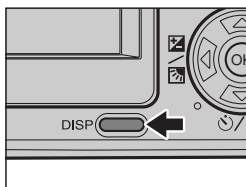
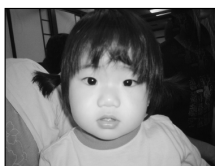
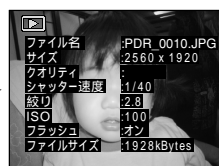
- 画像は ▲ ▼ ボタンを押しても、逆送り／順送りできます。
- 画像再生中に、◀ ▶ ボタンを押すと、90 度回転表示します。▶ ボタンで画像を時計回りに回転表示し、◀ ボタンで反時計回りに回転表示します。回転させた方向と反対のボタンを押すと、通常の表示に戻ります。
- 動画データには「🎥」アイコンが表示されます。動画は、回転表示できません。
  「動画を再生する」➡ 64ページ
- 音声メモが録音されている画像には「🎙」アイコンが表示されます。
  「音声メモを録音する」➡ 73ページ

画像情報を表示する

画像再生時の情報表示の状態を切り換えることができます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

2 サーチダイヤルで画像を選択する

3 DISP ボタンを押す

DISPボタンを押すごとに、表示形式が以下のように切り換わります。

- 拡大表示中は標準と非表示の切り換えになります。
- 動画では情報表示の状態を切り換えることはできません。

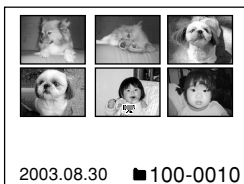
画像を一覧表示（サムネイル表示）する

画面に、縮小した画像を一覧表示します。一覧できる画像は一度に９画像までです。
撮影した画像の数が多いときなど、目的の画像を選択するのに便利です。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最後の画像が液晶モニターに表示されます。

2 W(Wide)ボタンを押す

2003.08.30　■100-0010

＊ サムネイル表示で動画データが存在する場合、［ 🎥 ］が表示されます。

画像がサムネイル表示されます。
▲▼◀▶ボタン、またはサーチダイヤルで選択された画像は、緑の枠で囲まれます。
画像が 10 画像以上あるときは、▲▼ボタンまたはサーチダイヤルでスクロールしてください。

- SDカード内に複数のフォルダが存在していても、▲▼◀▶ボタンまたはサーチダイヤルで、すべてのフォルダの画像をサムネイル表示できます。

■ 選択したサムネイル画像を通常の大きさで表示するには

サーチダイヤルまたは▲▼◀▶ボタンで画像を選択し、OKボタンまたはT(Tele)ボタンを押すと、選択した画像が通常の大きさで表示されます。

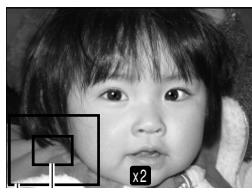
画像を拡大表示する

再生中の画像を２倍と４倍の２段階に拡大して表示できます。

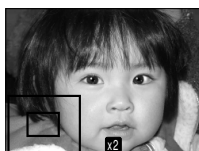
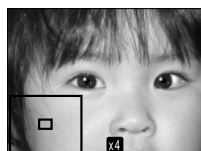
1 モードダイヤルを［▶］に合わせる

最後の画像が液晶モニターに表示されます。

2 サーチダイヤルで拡大したい画像を選択する

3 T(Tele)ボタンを押す

現在の拡大位置

画像全体

画像が２倍に拡大表示されます。
画像が拡大表示されると、画面に2つの枠が表示されます。
外側の白枠は画像全体、内側の緑枠は現在画面に拡大されている位置を示します。
T(Tele)ボタンをもう１度押すと、４倍に拡大表示されます。
拡大表示している状態でW(Wide)ボタンを押すと、1段階縮小表示されます。
▲▼◀▶ボタンを押すと、拡大表示する位置を移動できます。画面に表示される枠の位置を見ながら、調節してください。
T／Wボタンを押すごとに、画面が以下の順番で切り換わります。

動画を再生する

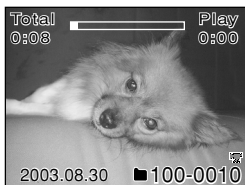
撮影した動画を再生します。音声も再生されます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最後の画像が液晶モニターに表示されます。
液晶モニターが明るすぎる、または暗すぎる場合は、明るさを調節してください。
「液晶の明るさ」➪ 52ページ

2 サーチダイヤルで再生したい動画を選択する

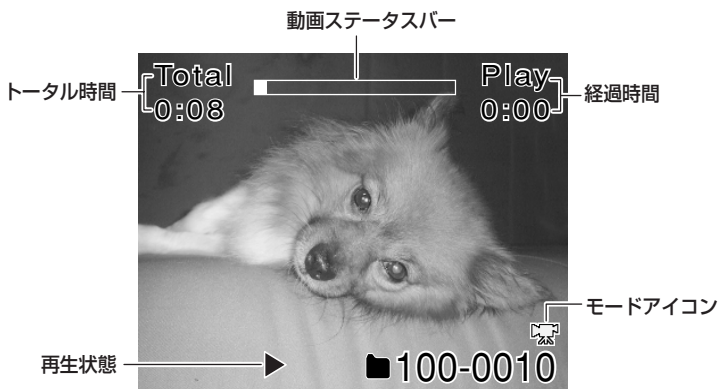
サムネイル表示（➪ 62ページ）からでも選択できます。

3 OK ボタンを押す

選択した動画が再生されます。
再生中に ▶／◀ ボタンを押すと、早送り再生／早戻し再生できます。

メモ
- 動画は回転表示、拡大表示できません。

動画再生時の液晶モニターの表示

表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

はじめに
準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

■ 動画の再生を止めるには

▼ ボタンを押します。
再生を停止して、動画の先頭に戻ります。

■ 動画の再生を一時停止するには

▲ ボタンを押します。
再生を一時停止します。
一時停止を解除するには、もう一度 ▲ ボタンを押します。

- 一時停止中に サーチダイヤルを下に回すとコマ送り、上に回すと逆コマ送りできます。

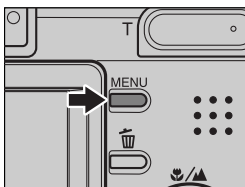
■ ボタンを押したときの動作

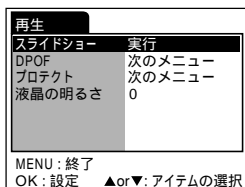
	再生中	一時停止中	停止中
▶ ボタン	早送り再生 ▶ ボタンを押すごとに、2倍早送り再生、4倍早送り再生、通常再生の順に切り換わります。	早送り再生 ▶ ボタンを押すごとに、2倍早送り再生、4倍早送り再生、通常再生の順に切り換わります。	
◀ ボタン	逆再生 ◀ボタンを押すごとに、逆再生、2倍早戻し再生、4倍早戻し再生の順に切り換わります。	逆再生 ◀ボタンを押すごとに、逆再生、2倍早戻し再生、4倍早戻し再生の順に切り換わります。	
▲ ボタン	一時停止	再生	前の画像
▼ ボタン	停止 動画の先頭に戻ります。		次の画像
OKボタン		再生	

再生メニューの設定を変更する

再生モード（[▶]）のときに、どのような設定で再生するかを設定します。
設定した内容は電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

2 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

3 ▲ ▼ ボタンで設定項目を選択し、OKボタンを押す

選択した項目の設定画面が表示されます。

スライドショー	⇨ 67 ページ
DPOF	⇨ 70 ページ
プロテクト	⇨ 68 ページ
液晶の明るさ	⇨ 52 ページ

4 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OK ボタンを押す

設定が保存されます。

5 再生メニューを終了するときは、MENU ボタンを押す

再生状態になります。

スライドショー

静止画を 1 画像ずつ順番に自動再生します。

1 再生メニューから、▲ ▼ ボタンで［スライドショー］を選択し、OK ボタンを押す

スライドショーが始まり、約 3 秒ごとに次の画像へ切り換わります。
スライドショーを止めるときは OK ボタンを押します。
画面には OK ボタンを押したときの画像が表示されます。

- 自動再生中、オートパワーオフは、はたらきません。
- すべてのフォルダの画像が自動再生されます。
- 動画は、再生できません。

DPOF

プリント（現像）したい画像に、枚数指定や日付表示をDPOF形式（➪ 用語 109ページ）で設定します（静止画のみ）。SD カードをお店に持って行くだけで、簡単にプリントできます。
「DPOFを設定する」➪ 70ページ

プロテクト

画像をあやまって消去しないように、読み出し専用データにします。このことをプロテクトといいます。
「画像をプロテクトする」➪ 68ページ

液晶の明るさ

液晶モニターの明るさを調節します。記録された画像の明るさを調節するものではありません。
「液晶の明るさ」➪ 52ページ

画像をプロテクトする

画像をあやまって消去しないように、読み出し専用データにします。このことをプロテクトといいます。

- SDカードをフォーマットすると、プロテクトは無効になり、画像はすべて消去されます。
- SDカード全体をプロテクトするには、「誤消去防止について」(⇨15ページ）をご覧ください。

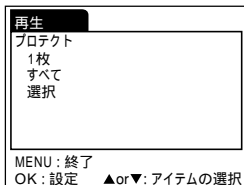
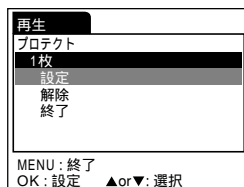
プロテクトする

● 準備

1画像だけプロテクトする場合は、プロテクトする画像を表示させておきます。

1 再生メニューから▲ ▼ ボタンで［プロテクト］を選択し、OK ボタンを押す

プロテクト設定画面が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで［1枚］または［すべて］を選択し、OK ボタンを押す

3 ▲ ▼ ボタンで［設定］を選択し、OK ボタンを押す

プロテクトが実行され、再生状態に戻ります。
プロテクトした画像に［ 🔒 ］（黄色）が表示されます。
「すべて」を選択した場合は、すべての画像に［ 🔒 ］（黄色）が表示されます。

- SD カード内に複数のフォルダが存在していても、サーチダイヤルまたは▲▼◀▶ボタンで、すべてのフォルダの画像を選択できます。

プロテクトを解除する

● 準備

１画像だけプロテクトを解除する場合は、プロテクトを解除する画像を表示させておきます。

1 再生メニューから▲ ▼ ボタンで［プロテクト］を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで［1 枚］または［すべて］を選択し、OK ボタンを押す

3 ▲ ▼ ボタンで［解除］を選択し、OK ボタンを押す

プロテクトの解除が実行され、再生状態に戻ります。

複数の画像を同時にプロテクトする

1 再生メニューから▲ ▼ ボタンで［プロテクト］を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで［選択］を選択し、OK ボタンを押す

画像がサムネイル表示されます。

3 ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでプロテクトする画像を選択し、DISP ボタンを押す

プロテクトした画像に［ ］（黄色）が表示されます。この手順をくり返して複数の画像を選択します。プロテクトされた画像を選択し、DISP ボタンを押すと、プロテクトが解除されます。

4 OK ボタンを押す

プロテクト及びプロテクトの解除が実行され、再生状態に戻ります。

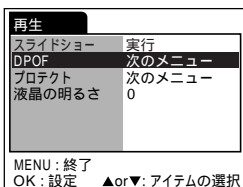
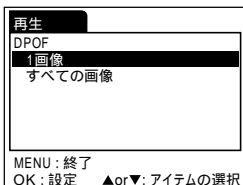
DPOF を設定する

プリント（現像）したい画像に、枚数指定や日付表示を DPOF 形式（➪ 用語 109 ページ）で設定します（静止画のみ）。SD カードをお店に持って行くだけで、簡単にプリントできます。
DPOF 対応プリンターであれば、ご家庭でもプリントできます。

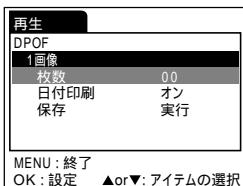
DPOF を設定する

● 準備

1 画像だけ DPOF を設定する場合は、DPOF を設定する画像を表示させておきます。

1 再生メニューから、▲ ▼ ボタンで［DPOF］を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで［1 画像］または［すべての画像］を選択し、OK ボタンを押す

DPOF 設定画面が表示されます。

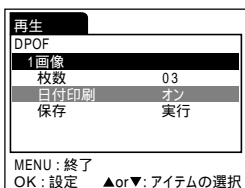
1 画像　：1 画像ずつ設定する
すべての画像　：一度にすべての画像を設定する

3 ▲ ▼ ボタンで［枚数］を選択し、OK ボタンを押す

枚数設定画面が表示されます。

4 ▲ ▼ ボタンで枚数を設定し、OK ボタンを押す

枚数は 1 画像につき最大 99 枚まで設定できます。

▲ ▼ ボタンで［日付印刷］を選択し、OK ボタンを押す

再生
DPOF
1画像
枚数　03
日付印刷　オン
保存　実行
MENU：終了
OK：設定　▲or▼：アイテムの選択

日付設定画面が表示されます。

▲ ▼ ボタンで［オン］または［オフ］を選択し、OK ボタンを押す

オン：撮影した日付をプリントする
オフ：撮影した日付をプリントしない

▲ ▼ ボタンで［保存］を選択し、OK ボタンを押す

▲ ▼ ボタンで［実行］を選択し、OK ボタンを押す

DPOF 情報のファイルが作成され、終了すると再生画面に戻ります。
DPOF を設定した画像に［ ］（赤色）が表示されます。

- 写真にプリントする日付は、カメラに設定された日付によります。正しい日付を写真にプリントするためには、画像を撮影する前にカメラの日時設定をチェックしてください。
  「日時設定」➡ 97ページ
- プリンターの種類によっては、DPOFに対応していない場合もありますので、ご注意ください。
- SD カード内に複数のフォルダが存在していても、サーチダイヤルまたは ▲ ▼ ボタンですべてのフォルダの画像を選択できます。

- 指定できるプリント枚数は、1 画像につき 99 枚までです。また、同一 SD カード内でプリント指定できる画像数は、999画像までです。ただし、同一 SD カード内で指定できるプリント枚数は 1,500 枚までに制限されます。

DPOFの設定を解除する

● **準備**

１画像だけDPOFの設定を解除する場合は、DPOFの設定を解除する画像を表示させておきます。

1 再生メニューから▲ ▼ ボタンで［DPOF］を選択し、ＯＫボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで［１画像］または［すべての画像］を選択し、ＯＫボタンを押す

3 ▲ ▼ ボタンで［枚数］を選択し、OK ボタンを押す

枚数設定画面が表示されます。

4 ▼ ボタンで［00］を選択し、OK ボタンを押す

5 ▲ ▼ ボタンで［保存］を選択し、OK ボタンを押す

6 ▲ ▼ ボタンで［実行］を選択し、OK ボタンを押す

音声メモを録音する

撮影した静止画に、最大 10 秒間の音声をメモのように録音できます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最後の画像が液晶モニターに表示されます。

2 サーチダイヤルで画像を選択する

サムネイル表示（➡ 62 ページ）からでも選択できます。

3 シャッターボタンを全押しする

画面に［VOICE RECORDING］が表示され、録音が始まります。
録音中にもう一度シャッターボタンを全押しするか、または 10 秒間経過すると、［VOICE RECORD END］が表示され録音が終了します。
音声メモが録音された画像には「🎙」アイコンが表示されます。

■ 音声メモを再生するには

OKボタンを押すと、［VOICE PLAYBACK］が表示され、音声メモが再生されます。

■ 音声メモの再生を止めるには

シャッターボタンを押します。

■ 音声メモを上書き録音するには

シャッターボタンを全押しすると録音が始まり、もう一度シャッターボタンを全押しすると録音が終了します。
音声メモは何度でも上書き録音することができます。

画像を消去する

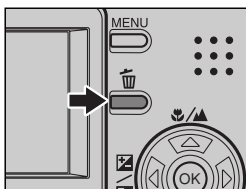
画像を消去します。ただし、プロテクトされている画像（➪ 68 ページ）や、SD カードがロック状態（➪ 15 ページ）の場合は消去できません。
消去した画像は、元に戻せませんので注意してください。

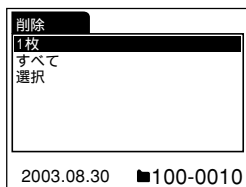
1 画像消去／全画像消去

1 モードダイヤルを撮影モードまたは再生モードのいずれかに合わせる

2 [▶] の場合、サーチダイヤルで消去したい画像を選択する

撮影モードの場合は、最後の画像が消去対象となります。

3 消去ボタンを押す

消去メニューが表示されます。

4 ▲ ▼ ボタンで［1 枚 ］または［すべて］を選択し、OK ボタンを押す

消去の確認画面が表示されます。

1 枚 ：選択した画像、もしくは最後の画像を消去する
すべて ：プロテクトされている画像を除く、SD カード内のすべての画像を消去する
選択 ：選択した画像をまとめて消去する
「選択画像消去」➪ 75 ページ

5 ▲ ▼ ボタンで［実行］を選択し、OK ボタンを押す

画像が消去され、それぞれのモードに戻ります。
消去しない場合は［キャンセル］を選択し、OK ボタンを押します。
［1 枚］を選択した場合、画面に［プロテクトされています］が表示されたときは、プロテクトを解除（➪ 69 ページ）、または DPOF を解除（➪ 72 ページ）してください。

メモ
- 消去後に撮影しても、消去前に最後に割り当てられた番号の次から連続番号でファイル番号が割り当てられます。

選択画像消去

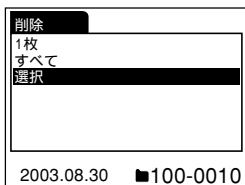
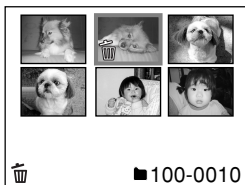
選んだ画像をまとめて消去します。

1 モードダイヤルを撮影モードまたは再生モードのいずれかに合わせる

2 🗑 消去ボタンを押す

消去メニューが表示されます。

3 ▲ ▼ ボタンで［選択］を選択し、OK ボタンを押す

画像がサムネイル表示されます。

4 ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで消去したい画像を選択し、🗑 消去ボタンを押す

「🗑」アイコンが表示されます。もう一度消去ボタンを押すと解除されます。
この手順をくり返し、消去したい画像をすべて選択します。

5 OK ボタンを押す

選択した画像が消去され、それぞれのモードに戻ります。

パソコンに接続する

ソフトウェアについて
接続するパソコンについて
Windows パソコンで画像を見る
Macintosh パソコンで画像を見る
画像のサイズを変更する
パソコンの画像をカメラにコピーする
パソコンからカメラを取りはずす

ソフトウェアについて

この取扱説明書では付属のソフトウェアのインストール方法と、ソフトウェアの簡単な使用方法を説明しています。詳しい使用方法は、ソフトウェアのヘルプファイルをご覧ください。
この取扱説明書はお客様がお使いのパソコンの基本的な使用方法に関する知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンの基本的な使用方法については、お使いのパソコンまたはOSの取扱説明書をご覧ください。

付属のソフトウェアについて

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。

- ACDSee™（画像閲覧ソフトウェア）
  撮影した画像をパソコンで見ることはもちろん、画像の加工や修正もできます。
  ACDSeeの詳しい操作方法はヘルプファイルをご覧ください。
  ACDSeeと、このカメラ以外の機器との接続は保証しておりません。このカメラ以外の機器との接続、およびACDSeeの操作に関しては、ACD Systems社のオンラインサポートにお問い合わせください。
  ACD Systems社オンラインサポート：OEM@ACDJAPAN.com
- DirectX®（動画再生ソフトウェア）
  カメラで撮影した動画ファイルが、Windows Media® Playerで再生できない場合にインストールします。
- USBドライバ（Windows 98専用）
  付属のUSBケーブルを使用して、カメラとパソコンを接続するときにインストールします。このドライバはWindows 98専用です。Windows 2000/Me/XPおよびMacintoshをお使いのお客様は、各OSの標準ドライバをご使用ください。
- サービス＆サポートファイル
  サービスおよびサポートに関する情報が記載されています。
  取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。
  「アフターサービスについて」➡ 110ページ

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書は、1台の機器について使用できます。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書により機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての保証はご容赦ください。

接続するパソコンについて

パソコンとカメラを接続すると、撮影した画像をパソコンに転送して、加工したりインターネットを通じて第三者に送ったりできます。

接続するパソコンの推奨環境

カメラと接続するパソコンには、以下のシステム環境を推奨します。接続する前にお確かめください。

	Windowsをお使いの場合	Macintoshをお使いの場合
CPU	Pentium®以上のプロセッサを推奨	Power PC G3プロセッサ266MHz以上を推奨
OS	Windows 98/2000/Me/XP プレインストールパソコン	Mac OS 9.0以上 (Mac OS 9.2以上を推奨) Mac OS X 10.1.3～10.1.5、10.2、10.3
メモリー	64MB以上	
ハードディスクの空き容量	20MB以上を推奨（画像を扱うので、十分な空き容量があることをご確認ください。）	
カラーモニター	256色、800X600ドット以上（32,000色以上を推奨）	
必要なデバイス	CD-ROMドライブ、USBポート	

Mac OS 9.0、Mac OS 9.1 をお使いの場合、CarbonLib1.5 以上が必要です。
アップルコンピュータ株式会社のウェブサイトから入手可能です。

※すべてのパソコンとの接続を保証するものではありません。

ファイルの構造について

カメラとパソコンを接続すると、カメラで撮影した画像のフォルダは、右図のように表示されます。
（Windows で表示した場合）

[XXXTOSHI]

- TOSHI：東芝のカメラで撮影した画像のフォルダを意味します。
- XXX：100～999のフォルダ番号が、状況に応じて割り当てられます。

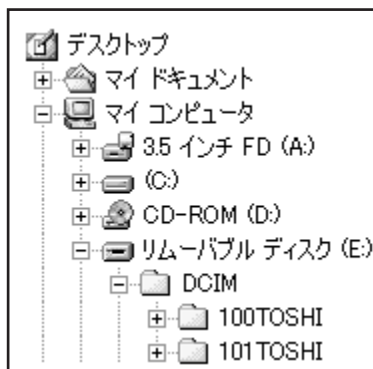
静止画

ファイル名はPDR_XXXX.jpgです（XXXX は0001 ～9999 の数字）。
拡張子の「.jpg」はJPEGファイル（➡ 用語109ページ）であることを意味します。
撮影した画像はExif フォーマット（➡ 用語 109 ページ）で保存されます。

動画

ファイル名はPDR_XXXX.avi です（XXXX は0001 ～9999 の数字）。
拡張子の「.avi」はAVI形式（➡ 用語109ページ）のファイルであることを意味します。

音声

ファイル名はPDR_XXXX.wav です（XXXX は0001 ～9999 の数字）。
拡張子の「.wav」はWAV形式（➡ 用語 109 ページ）のファイルであることを意味します。

Windows パソコンで画像を見る

対応 OS は、Windows 98/2000/Me/XP です。USB ドライバのインストールは、Windows のバージョンによって異なりますので、インストールの際には十分にご確認ください。

重要 ● 画像転送中にカメラの電源が切れると、データが破壊されるおそれがあります。カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプターのご使用をおすすめします。

1 付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入する

表示言語を選択する画面が表示されます。

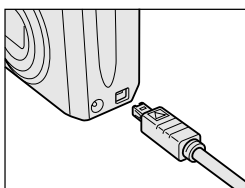
2 [日 本 語] アイコンをクリックする

3 [ACDSee FotoSlate] アイコンをクリックする

セットアップを開始します。
画面の指示にしたがって、ACDSee をインストールします。
インストールが完了すると、デスクトップ上に ACDSee のアイコンが表示されます。

■ Windows 98 をお使いのときは

付属の CD-ROM から［ ］アイコンをクリックし、画面の指示にしたがってインストールします。

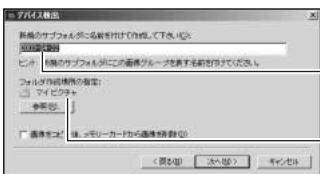
4 モードダイヤルを［ ］に合わせ、USB ケーブルを接続する

パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を、USB ケーブルで接続します。
USB ケーブルのプラグに表示された［ △ ］マーク側をカメラ上面に向けて差し込んでください。

画面の指示にしたがって各OSの標準ドライバをインストールします。
インストール終了後は、パソコンを再起動します。

パソコンが再起動すると、デバイス検出が起動します。

デバイス検出画面の［画像をハードドライブにコピー］と［ACDSeeを起動］をチェックし、［次へ］をクリックする

パソコンに画像をコピーせずに、閲覧するだけのときは、［画像をハードドライブにコピー］のチェックははずし、「ACDSeeを起動」だけにチェックをしておきます。

6 保存先と保存するフォルダ名を指定し、［次へ］をクリックする

画像のコピーを開始します。

コピーする画像の保存先のフォルダ名を入力します（新しくフォルダが作成されます）。

フォルダが作成される場所が表示されます（［参照］をクリックすると既存のフォルダを指定できます）。

画像のコピー完了後にカメラのSDカードから画像を削除するときは、［画像をコピー後、メモリーカードから画像を削除］をチェックしておきます。
画像のコピーが完了すると、ACDSeeが起動し、保存先に指定したフォルダ内の画像が表示されます。
コピーされた画像のファイル名は「日付+3桁の数字」で表示されます。

メモ

- カメラとパソコンが接続されると、カメラは「リムーバブルディスク」としてパソコン上に表示されます。
- USBドライバがインストールされると、次からはUSBケーブルを接続するだけでパソコンがカメラを自動的に認識します。
- カメラとパソコンを接続しているときは、オートパワーオフは、はたらきません。

動画を見る

ACDSee™ で表示された動画ファイル（avi ファイル）をダブルクリックする

動画再生ソフトが起動し、動画を再生します。

■ DirectX® のインストール

このカメラで撮影した動画ファイルが、Windows Media® Player で再生できない場合にインストールします。

1）付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入する

表示言語を選択する画面が表示されます。

2）［日 本 語］アイコンをクリックする

3）［DIRECTX］アイコンをクリックする

画面の指示にしたがって、DirectX をインストールします。

日付を印刷する

1 ACDSee で表示された画像から、印刷する画像を選択し、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする

2 プリンタ、印刷部数などを設定し、［印刷］をクリックする

「印刷の設定」画面が表示されます。

3 ［オリジナルの日付］をチェックし、［OK］をクリックする

印刷を開始します。

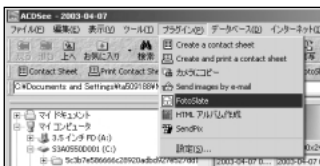
用紙のどの位置に画像を配置するか指定します。

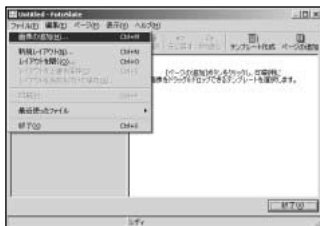
［オリジナルの日付］がチェックされていると、画像の右下に日付を印刷できます。

チェックされている情報が印刷されます。

レイアウト印刷する

用意されたサンプルフォームを使って、用紙に複数の画像を配置したり、コメントをつけたりできます。

1 [プラグイン] メニューの [FotoSlate] をクリックする

レイアウト作成画面が表示されます。

2 [ファイル] メニューの [画像の追加] をクリックし、表示された画面から目的の画像を選択する

レイアウト作成画面の左側のエリアに、選択した画像が表示されます。

3 [ページ] メニューの [ページの追加] をクリックし、表示された「ページの追加」画面から目的のレイアウトを選択する

レイアウト作成画面の右側のエリアに、選択したサンプルフォームが表示されます。

4 画像をドラッグ＆ドロップでサンプルフォームに配置する

レイアウトに配置された画像は、ダブルクリックすると編集できます。
この画面に呼び出した画像は、元の画像からコピーされたものなので、元の画像に影響を与えることなく、編集・加工できます。

5 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックする

印刷を開始します。
作成したレイアウトを保存する場合は、[保存] をクリックします。

Macintosh パソコンで画像を見る

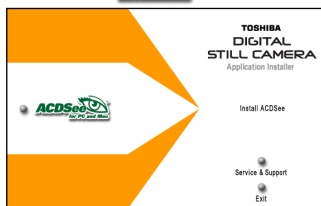
対応OSは、79ページに記載したとおりです。このカメラはUSB Mass Storage Classに対応しているので、これらの対応OSでは、USBドライバのインストールは不要です。

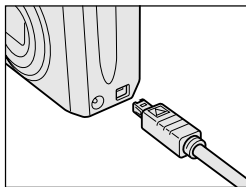
- 画像転送中にカメラの電源が切れると、データが破壊されるおそれがあります。カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプターのご使用をおすすめします。

1 付属のCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入する

表示言語を選択する画面が表示されます。

2 [日本語] アイコンをクリックする

3 [ACDSee for PC and Mac] アイコンをクリックする

セットアップを開始します。
画面の指示にしたがって、ACDSeeをインストールします。
インストールが完了すると、ACDSeeフォルダがハードディスクに保存されます。

4 モードダイヤルを［ ］に合わせ、USBケーブルを接続する

パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を、USBケーブルで接続します。
USBケーブルのプラグに表示された［ △ ］マーク側をカメラ上面に向けて差し込んでください。
パソコンがカメラを認識すると、ACDSee Device Detectorが起動します。

5 ACDSee Device Detector 画面で画像のダウンロード先を指定し、[ACDSee を起動］をチェックして、[ダウンロード］をクリックする

画像のコピーを開始します。
パソコンに画像をコピーするだけで、ACDSee を起動しないときは、[ACDSee を起動］のチェックをはずしておきます。
画像のコピー後に、カメラの SD カードから画像を削除するときは、[デバイスから画像を削除］をチェックしておきます。

- カメラとパソコンが接続されると、カメラは「名称未設定」ディスクとしてデスクトップ上に表示されます。
- USB ドライバがインストールされると、次からはUSBケーブルを接続するだけでパソコンがカメラを自動的に認識します。
- カメラとパソコンを接続しているときは、オートパワーオフは、はたらきません。
- 他の USB ドライブと同時に使用すると、カメラ内の SD カードがデスクトップにマウントされない場合があります。この場合は、USBの接続をカメラのみにしてご使用ください。

動画を見る

ACDSee で表示された動画ファイル（avi ファイル）をダブルクリックする

動画再生ソフトが起動し、動画を再生します。

日付を印刷する

1 [ファイル］メニューの［カスタム印刷］をクリックする

カスタム印刷画面が表示されます。

2 [イメージ］タブの［キャプチャー日付を印刷］をチェックし、［ファイルリストを印刷］をクリックする

印刷を開始します。

チェックされている情報が印刷されます。

［キャプチャー日付を印刷］がチェックされていると、画像の右下に日付を印刷できます。

選択されている画像だけ印刷するか、フォルダ内の画像をすべて印刷するかを選択します。

画像のサイズを変更する

メールに画像を添付して送る場合などのために、ACDSeeを使って画像サイズを小さくすることができます。

1 ACDSeeで表示された画像から、サイズを小さくしたい画像をクリックして選択する

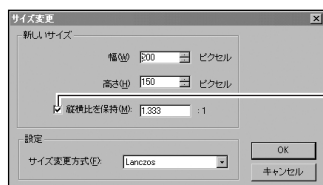
USBケーブルでパソコンとカメラを接続している場合、リムーバブルディスクとして表示されます。リムーバブルディスクを指定すれば、カメラに保存されている画像を直接選択することができます。

2 ［ツール］メニューの［編集］をクリックする

編集画面が表示されます。

3 ［編集］メニューの［サイズ変更］をクリックする

サイズ変更画面が表示されます。

4 ［幅］と［高さ］に希望の数字を入力して［OK］をクリックする

サイズ変更された画像が表示されます。

［縦横比を保持］がチェックされていると、画像の縦横比を変えずに画像サイズを変更できます。

5 ［ファイル］メニューの［名前を付けて保存］をクリックする

6 ファイル名を入力し、［保存］をクリックする

サイズ変更された画像が保存されます。

重要

- カメラに保存されている画像を直接サイズ変更した場合、カメラで表示できなくなることがあります。

パソコンの画像をカメラにコピーする

パソコンに保存されている画像をカメラにコピーできます。動画はコピーできません。
この機能は Machintosh には対応しておりません。

1 パソコンとカメラを USB ケーブルで接続する

ACDSee が自動的に起動します。

2 カメラにコピーしたい画像を選択し、［カメラにコピー］をクリックする

3 画像の変換サイズを選択し、［OK］をクリックする

XXXACDSEフォルダに、ACDSXXXX.jpg という名称で、カメラのSDカードにコピーされます。

どんなサイズの画像でも、640×480のサイズでコピーされます。

サイズ変更はしないで、そのままの大きさでコピーされます。

コピーしようとする画像サイズによって、変更されるサイズは異なります。

640 × 480 より大きいサイズ
1024 × 768に変更されます。1024 × 768よりも小さいサイズの画像の場合は、周囲に黒枠が追加されます。

640 × 480 以下のサイズ
640 × 480に変更されます。640 × 480よりも小さいサイズの画像の場合は、周囲に黒枠が追加されます。

- 「サイズ変更なし」を選択した場合、画像サイズによって、カメラで正常に表示できない場合があります。
- ACDSee の詳しい説明については、ヘルプをご覧ください。
- このカメラ以外で撮影された画像をコピーした場合、表示できないことがあります。
- パソコンからコピーした画像は、拡大表示、回転表示できません。

パソコンからカメラを取りはずす

● 準備

画像を使用しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。

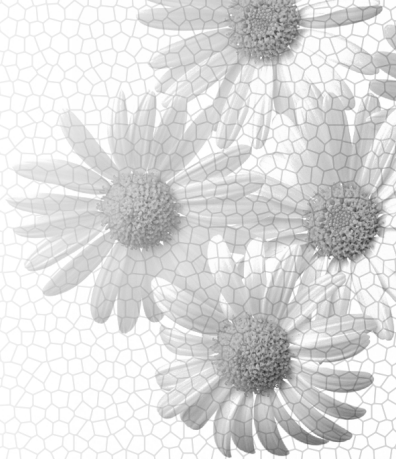
■ Windows 98 をお使いのときは

カメラの電源を切り、USB ケーブルをパソコンとカメラから取りはずします。

■ Windows 2000/Me/XP をお使いのときは

パソコンのデスクトップ上で、右下にあるタスクトレイの［ ］をクリックし、メッセージにしたがって操作してください。操作が終了したら、USBケーブルをパソコンとカメラから取りはずします。

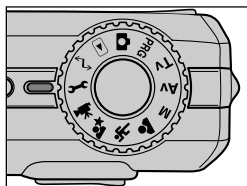
■ Macintosh をお使いのときは

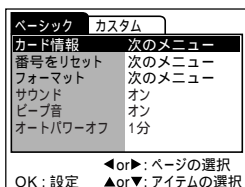
デスクトップ上の「名称未設定」（カメラのフォルダ）をゴミ箱にドラッグ＆ドロップし、USB ケーブルをパソコンとカメラから取りはずします。

その他

カメラの環境設定をする（ベーシック）
カメラの環境設定をする（カスタム）
LED カラーについて
テレビを使って撮影・再生する

カメラの環境設定をする（ベーシック）

このカメラを使用するときの環境を設定します。このことをセットアップといいます。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

モードダイヤルを［ ］に合わせる

セットアップメニューの［ベーシック］が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで設定項目を選択し、OKボタンを押す

選択した設定項目の設定画面が表示されます。

カード情報 ➡ 93 ページ
番号をリセット ➡ 93 ページ
フォーマット ➡ 94 ページ
サウンド ➡ 94 ページ
ビープ音 ➡ 95 ページ
オートパワーオフ ➡ 95 ページ

3 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OKボタンを押す

設定が終了すると、セットアップメニューに戻ります。

4 セットアップメニューを終了するときは、モードダイヤルを切り換える

カード情報

SD カードの空き容量などが確認できます。

1 セットアップメニューの［ベーシック］から▲ ▼ ボタンで［カード情報］を選択し、OK ボタンを押す

2 内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

番号をリセット

新しいフォルダを作成します。撮影した画像は新しく作成されたフォルダに0001 番から記録されます。

1 セットアップメニューの［ベーシック］から▲ ▼ ボタンで［番号をリセット］を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで［キャンセル］または［実行］を選択する

キャンセル　：ファイル番号をリセットしない
実行　　　　：ファイル番号をリセットし、新しいフォルダを作成する

3 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

フォーマット

SDカードに記録されている画像やフォルダをすべて消去します。SDカードがロック状態（➡ 15 ページ）の場合はフォーマットできません。

- SD カードのフォーマットは、必ずこのカメラで行なってください。
- SDカードをフォーマットすると、プロテクトされている画像（➡ 68ページ）も消去されます。また、画像以外のデータもすべて消去されます。フォーマットする前に、必ず確認してください。
- フォーマットによって消去された画像は元には戻せませんので注意してください。
- SD カードに異常がある場合は、正常にフォーマットできません。
- 市販の SD カードを初めて使うときは、その前に必ずフォーマットしてください。また、SDカードは最大容量を保つように、定期的にフォーマットして雑多なファイルを取り除くことをおすすめします。

1 セットアップメニューの[ベーシック]から▲ ▼ ボタンで［フォーマット］を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで［実行］を選択する

SDカードがフォーマットされ、セットアップメニューの[ベーシック]に戻ります。
フォーマットをしない場合は、［キャンセル］を選択し、OK ボタンを押します。

サウンド

録音した音声メモの再生時に、音を出すか出さないかを設定します。

1 セットアップメニューの[ベーシック]から▲ ▼ ボタンで［サウンド］を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで［オン］、または［オフ］を選択する

オン：再生音を出す
オフ：再生音を出さない

3 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

ビープ音

カメラを操作したときの音（効果音）を設定します。

1. セットアップメニューの[ベーシック]から▲ ▼ ボタンで［ビープ音］を選択し、OK ボタンを押す

2. ▲ ▼ ボタンで［オン］、または［オフ］を選択する

オン：ビープ音を鳴らす
オフ：ビープ音を鳴らさない

3. 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

オートパワーオフ

一定時間カメラを操作しなかったとき、バッテリーの消耗を防ぐために、電源が切れます。このことをオートパワーオフといいます。ここでは、オートパワーオフになるまでの時間を設定します。スライドショー中や[ ]PC モードの場合、この機能は、はたらきません。
オートパワーオフから動作の状態に戻すには、POWER ボタンで再度電源を入れます。

1. セットアップメニューの[ベーシック]から▲ ▼ ボタンで［オートパワーオフ］を選択し、OK ボタンを押す

2. ▲ ▼ ボタンで時間を選択する

1 分：カメラを操作しなかったとき 1 分後に電源が切れる
3 分：カメラを操作しなかったとき 3 分後に電源が切れる
5 分：カメラを操作しなかったとき 5 分後に電源が切れる

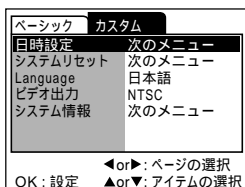
3. 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

カメラの環境設定をする（カスタム）

1 モードダイヤルを［ 🔧 ］に合わせ、▶ ボタンで［カスタム］を選択する

セットアップメニューの[カスタム]が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで設定項目を選択し、OKボタンを押す

選択した設定項目の設定画面が表示されます。

日時設定	⇨ 97 ページ
システムリセット	⇨ 97 ページ
Language（言語）	⇨ 98 ページ
ビデオ出力	⇨ 98 ページ
システム情報	⇨ 99 ページ

3 ▲ ▼ ボタンで設定する値を選択し、OKボタンを押す

設定が終了すると、セットアップメニューに戻ります。

4 セットアップメニューを終了するときは、モードダイヤルを切り換える

日時設定

日付と時刻を設定します。

1 セットアップメニューの[カスタム]から▲ ▼ ボタンで[日時設定］を選択し、OK ボタンを押す

2 ◀ ▶ ボタンで設定項目を選択し、▲ ▼ ボタンで日付と時間を設定する

3 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

システムリセット

基本設定を初期に戻します。日時設定は変更されません。

1 セットアップメニューの[カスタム]から▲ ▼ ボタンで[システムリセット］を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで［キャンセル］または［実行］を選択する

キャンセル　：初期設定に戻さない
実行　：初期設定に戻す

3 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

Language（言語）

液晶モニターに表示される言語を設定します。

1 セットアップメニューの[カスタム]から▲ ▼ ボタンで [Language] を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで言語を選択する

English　　：英語
Français　　：フランス語
Deutsch　　：ドイツ語
Español　　：スペイン語
日本語　　：日本語
繁體中文　　：中国語（繁体字）
簡体中文　　：中国語（簡体字）

3 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

ビデオ出力

カメラを接続する映像機器のビデオ出力方式に合わせて設定します。

1 セットアップメニューの[カスタム]から▲ ▼ ボタンで [ビデオ出力] を選択し、OK ボタンを押す

2 ▲ ▼ ボタンで [NTSC] または [PAL] を選択する

NTSC　：NTSC 方式（➡ 用語 109 ページ）
PAL　：PAL 方式（➡ 用語 109 ページ）

3 設定内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

システム情報

カメラのファームウェアのバージョンを表示します。

1 セットアップメニューの［カスタム］から▲ ▼ ボタンで［システム情報］を選択し、OK ボタンを押す

2 内容を確認し、OK ボタンを押す

セットアップメニューに戻ります。

はじめに
準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

LED カラーについて

ファインダー LED の色と状態を説明します。

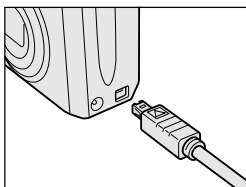
■ ファインダー LED

色	状態	電源オフ時	撮影時	再生時	パソコン接続時
緑	点灯	バッテリー充電中	AFロック成功	ー	パソコン接続中
	点滅	ー	ー	ー	USBビジー
赤	点灯	ー	SDカードアクセス中	SDカードアクセス中 DPOFファイル作成中	SDカードアクセス中
	点滅	ー	AFロック失敗	ー	ー
オレンジ	点灯	バッテリー充電エラー	撮影処理中 フラッシュ充電中 ズーム初期化中	ー	パソコンに認識されていない状態など、その他の状態
	点滅	ー	電池残量なし カメラの異常	電池残量なし	電池残量なし SDカードなし

テレビを使って撮影・再生する

テレビで画像を確認しながら撮影したり、テレビで画像を再生したりできます。その場合、あらかじめカメラとテレビを接続しておきます。屋内などコンセントがある場所では、ACアダプターをご使用になることをおすすめします。

- 機器の接続を行なうときは、必ずすべての接続機器の電源を切ってください。電源を入れたまま機器の接続を行なうと、画面が乱れたり、画像が正常に表示されないことがあります。
- カメラを接続する映像機器のビデオ出力方式にあわせてNTSC／PAL方式を切り換えてください。
「ビデオ出力」➡ 98ページ

1 付属のAVケーブルのプラグをカメラのA/V OUT端子に接続する

カメラのA/V OUT端子にAVケーブルが接続されているとき、カメラの液晶モニターに画像は表示されません。

2 AVケーブルのプラグをテレビの映像・音声入力端子に接続する

テレビに画像が表示されます。

3 撮影、または再生する

操作方法は撮影、再生と同じです。
「撮影する」➡ 27ページ、「再生／消去する」➡ 59ページ

- 撮影前の画像は再生画像などと比べると、多少不鮮明になります（解像度が低くなります）。
- PAL方式のときは、画像に黒い枠がつきます。

付録

仕様

撮像素子	1/1.8インチCCDセンサー（総画素数：約525万画素、有効画素数：約509万画素）
撮像感度	ISO 100/200/400/100～200相当
レンズ	光学3倍ズームレンズ　F2.8－F4.7
焦点距離	f=7.2－21.6mm（35mmカメラ換算　35mm－105mm相当）
ファインダー	実像式光学ズームファインダー
オートフォーカス	TTL方式AF 焦点調整範囲：約9cm～∞（Wide側） 検出方式：コントラスト検出方式（検出時フレームレート30Hz）
測光方式	中央部重点測光/スポット測光
露出制御方式	プログラムAE/シャッター速度優先/絞り優先/マニュアル
露出補正	－2.0EVから＋2.0EV（1/3EV単位）
絞り	F2.8－F6.7自動切換、マニュアル切換可能
シャッター速度	8秒～1/1500秒
ホワイトバランス	自動/マニュアル設定切換可能（7モード）
撮影範囲	標準：約80cm～∞（Wide、Teleとも） マクロ：約9cm～∞（Wide側）、約30cm～∞（Tele側）
セルフタイマー	タイマー時間2秒/10秒/10+2秒切換
フラッシュ	発光モード：オート（低輝度時自動）/赤目軽減/強制発光/発光禁止 撮影範囲：約0.8m～3.0m（感度ISO200時）
日付・時刻	画像データに同時記録（Exifファイルフォーマット）
自動カレンダー機能	2059年まで自動修正
液晶モニター*1	1.5インチTFTカラー液晶（134400画素）
入出力端子	DC IN 5V端子：DC5V A/V OUT／DIGITAL端子 A/V OUT：付属AVケーブル対応 DIGITAL：USB　（Ver.1.1Mass Storage Class対応）
電源	リチウムイオンバッテリーまたはACアダプター
記録媒体	外部メモリー：SDカード（512MB以下）
圧縮方式	JPEG準拠
画像ファイルフォーマット	Exif Ver.2.2準拠,AVI
互換ルール	DCF Ver.1.1準拠
使用環境	温度：0℃～＋40℃（動作時）/－20℃～＋60℃（保存時） 湿度：30%～80%（動作時）結露しないこと
外形寸法	93mm×59mm×34mm（幅×高さ×奥行き） 突起部を除く
質量	約178g（付属品、バッテリー、SDカード含まず）

＊1 液晶モニターは非常に高精度の技術で作られておりますが、微細な斑点が現れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

● 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

警告メッセージ

液晶モニターには、以下のような警告を表わすメッセージやアイコンが表示されます。

表　示	意　味
(電池残量アイコン)	少なくなっています。
(電池残量アイコン)	ほとんど残っていません。
カードがいっぱいです	SDカードの空き容量がないので、撮影できません。
カードがありません	SDカードがはいっていません。
ファイルNo.がいっぱいです	ファイル番号が999-9999に達しています。
プロテクトされています	画像がプロテクトされています。
フォーマットエラーです	SDカードのフォーマットに異常があります。
ライトプロテクトカードです	SDカードがロック状態になっています。
このカードは使用できません	このカメラでは未対応のカードがはいっています。
画像がありません	SDカードに画像が記録されていません。
DPOFエラー	DPOF設定ファイルにサポートできないパラメータが存在します。
エラー＊＊＊	カメラに何らかの問題が生じている可能性があります。サポートセンターにご連絡ください（巻末参照）。
バッテリーカバーが開いています	バッテリー／SDカードカバーが開いています。
カードエラー	SDカードが異常です。
日時設定のデータが失われました	日時設定が初期値に戻っています。

故障かな？と思ったら

液晶モニターに表示される警告（➡ 105 ページ）、LED カラー（➡ 100 ページ）などを確認するとともに、以下の項目をお調べください。

状況	原因	対処方法	ページ
電源がはいらない	バッテリーが消耗している。	充電してください。	22
	ACアダプターの電源プラグが、コンセントからはずれている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	22
	バッテリーを入れる向きが間違っている。	バッテリーを正しい向きで入れてください。	20
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低いところで使っている。	バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに入れてください。	13
	端子が汚れている。	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	13
	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーと交換してください。	20
シャッターボタンを押しても撮影できない	SDカードに空き容量がない。	新しいSDカードを入れてください。 撮影した画像を消去して空き容量を増やしてください。	24 74
	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。 新しいSDカードと交換してください。	15 24
	SDカードがフォーマットされていない。	SDカードをフォーマットしてください。	94
	SDカードが壊れている。	新しいSDカードを入れてください。	24
	オートパワーオフ機能がはたらいている。	電源を入れてください。	25
フラッシュ撮影ができない	フラッシュが発光禁止に設定されている。	発光禁止以外の設定にしてください。	33
	フラッシュの充電中にシャッターボタンを押した。	充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	28
フラッシュが発光したのに再生画像が暗い	被写体が遠い。	被写体に近づいてください。	32
再生画像がぼやけている	レンズが汚れている。	レンズを清掃してください。	12
	撮影した画像のピントが合っていない。	被写体との距離に応じて、フォーカス設定を変更してください。	35
	手ブレ状態で撮影された。	ブレないように三脚に固定して撮影してください。	29

状況	原因	対処方法	ページ
SDカードのフォーマットができない	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。	15
1画像消去ができない	画像がプロテクトされている。	画像のプロテクトを解除してください。	69
	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。	15
ボタンを操作しても動作しない	モードダイヤルの設定位置がずれている。	モードダイヤルを正しい位置に設定してください。	–
液晶モニターをONにしても何も表示されない	PCモードになっている。	撮影、再生のモードにしてください。	27 59
設定した日時や内容が消えている	バッテリーを取りはずして長時間放置した。	バッテリーを入れて日時の設定をやり直してください。	20 26

Q&A

よくいただく質問をまとめましたので、参考にしてください。

Q シャッターボタンを押してもすぐに撮影できません。

A 半押しをしていますか？このカメラは半押しによって、フォーカスと露出を合わせます。半押しをしないでいきなりシャッターボタンを押しこむと、カメラはまず、フォーカスと露出を合わせようとします。そして適正値が見つかったところで撮影を行なうので、シャッターボタンを押してから実際に撮影されるまでに時間差が発生します。

シャッターチャンスを逃さないためにも、半押しすることをおすすめします。半押しについては、「[ ]オート撮影モードで撮影する」（28 ページ）をご覧ください。

Q 画像を修正しようとしたのですがうまくいきません。

A せっかく撮影した画像が、思っていたより明るすぎたり暗すぎたり、色が自分の好みに合っていなかったり。このような経験をお持ちの方もいらっしゃることと思います。カメラで撮影した画像は自分の好みに合わせて修正することができますが、慣れていないとなかなかうまくいかないものです。しかし、付属の画像閲覧ソフト「ACDSee」には自動修正機能が付いておりますので、どなたでも簡単に画像の修正を行なうことができます。

1) ACDSee を起動します。
2) 修正したい画像を開きます。
3) 「ツール」メニューの「編集」をクリックします。
   編集画面が表示されます。
4) 「調整」メニューの「レベル自動調整」をクリックします。
5) 修正した画像を保存します。

※ 画像によっては、効果が少ない場合があります。
ACDSee には、「レベル自動調整」のほかにも画像修正の機能があります。
詳しくは、ACDSee のヘルプファイルをご覧ください。

用語

● AF/AE
AF（オートフォーカス）…自動でピントを合わせる機能。
AE…自動で露出（絞りやシャッター速度）を合わせる機能。
AF/AE ロック…ピントと露出を固定すること。

● AVI ファイル形式
Windows で標準となっている動画のファイル形式。

● DCF（Design rule for Camera File System）
JEITA（電子情報技術産業協会）で制定されたデジタルカメラ同士や、デジタルカメラとプリンタ間でデータを交換する際に必要なファイルシステムの規格。SDカードなどのメディア内に画像ファイルを記録する際の階層やファイル名などが規定されている。

● DPOF 形式（Digital Print Order Format）
プリントのための情報を直接 SD カードに書き込むための規格。この形式に対応したファイルは、DPOF 形式対応のプリンタやラボプリントサービスで簡単にプリントできる。

● Exif ファイル形式（Exchangeable Image File Format）
JEITA（電子情報技術産業協会）に承認されたデジタルカメラ用のカラー静止画像フォーマット。JPEG に準拠。TIFF や JPEG と互換性があり、一般的なパソコン向け画像処理ソフトウェアで利用することができる。

● JPEG
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式。圧縮率が選択できるが、圧縮率が高いと画質は劣化する。パソコン用のペイントソフトやインターネット上で広く使われている。

● NTSC（National Television System Committee）
日本やアメリカが採用するテレビジョン方式。

● PAL（Phase Alternation by Line）
イギリスやドイツなどの欧州の主な国が採用するテレビジョン方式。

● WAV 形式
Windows で標準となっている音声のファイル形式。

● 赤目現象
人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあること。これは、フラッシュの光が目の中で反射することによって起こる。

● フォーマット
SD カードの内部を、データを記録するための形にすること（初期化ともいう）。

● ホワイトバランス（白バランス）
人間の目には、照明が変化しても、白い被写体は白く見えるという順応性がある。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランスを調整して初めて、白い被写体が白く見える。この調整のことをホワイトバランスを合わせるという。

● 露出補正
画面の中にきわめて明るいものや暗いものがあるとき、カメラが自動的に明るさを調節するため、目的の被写体が暗くなったり、明るくなったりする。これを補正すること。

アフターサービスについて

保証書

保証書はお買い上げいただいたお店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは、まず取扱説明書をご覧になりながらお調べください。
「故障かな？と思ったら」➪ 106ページ
それでも調子が悪いときは、お買い上げいただいたお店、または裏表紙の「モバイル AV サポートセンター」にご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品について

- 弊社は、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは以下のことをお知らせください

- 形名 PDR-5300
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご購入年月日（保証書をご覧ください）
- お名前
- ご住所
- 電話番号

付属の CD-ROM の中に、サービスおよびサポートに関する情報（取扱説明書の裏表紙の内容）が書かれたファイルが収録されています。取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。
ファイルを開くには、CD-ROM をパソコンのCD-ROM ドライブに入れて言語選択画面で「日本語」をクリックしたあと、「サービス＆サポート」をクリックしてください。

さくいん

東芝製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
お買い上げの販売店にお申し付けください。

【ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合は】
『東芝家電修理ご相談センター』： **0120-1048-41**（フリーダイヤル）
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
電話受付 ： 365日・24時間受付

【デジタルスチルカメラに関するお問い合わせ】
使いかた、故障、アプリケーションソフトなど
『モバイルAVサポートセンター』
電話番号：0570-05-7000
FAX : 03-3258-0470
受付時間 ： 月～土 10:00～20:00（祝祭日、年末年始を除く）

インターネットで情報を . . .
ホームページからサービス・サポートを含む最新情報の発信をしています。
ぜひ、私たちのホームページへアクセスしてください。
ホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。
このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ
（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

株式会社 東芝 デジタルメディアネットワーク社
映像システム事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号

※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください

付属のソフトウェア“ACDSee”に関するお問い合わせ
ACD Systems社オンラインサポート：OEM@ACDJAPAN.com

5300-MJ01